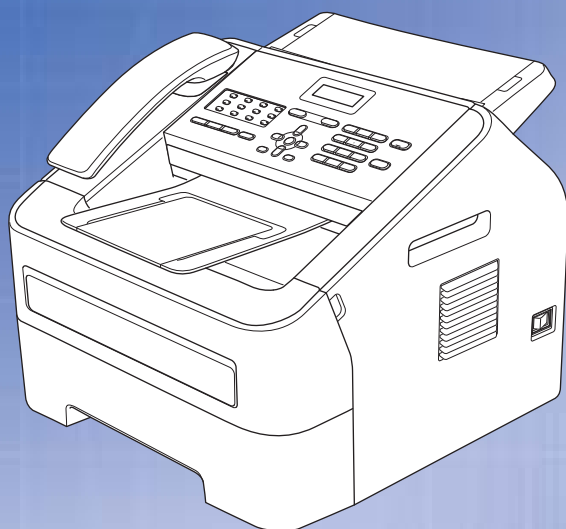


JUSTIO
複合機

brother

FAX-2840

ユーザーズガイド応用編



困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな? と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

1  ユーザーズガイド基本編 4章「困ったときには」で調べる

2 ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる
<http://solutions.brother.co.jp/>

ブラザーマイポータル

オンラインユーザー登録をお勧めします。
<https://myportal.brother.co.jp/>
ご登録いただくと、製品をより快適にご使用いただくための情報をいち早くお届けします。

全体にかかわる設定

ファクス送信

ファクス受信

転送・リモコン

レポート・リスト

必要なときに
確認してほしいこと

Version 0 JPN

目次

目次	2
本ガイドの表記	5
マークについて	5
編集ならびに出版における通告	5
第 1 章 全体にかかわる設定	6
電話回線設定	6
手動で回線種別を設定する	6
利用中の電話回線の種別を調べる	6
音量設定	7
着信音量を設定する	7
ボタン確認音量を設定する	7
〔ボタン確認音量&ブザー音量〕	7
スピーカー音量を設定する	7
受話音量を設定する	7
省エネ設定	8
トナーを節約する〔トナー節約モード〕	8
スリープモードに入る時間を設定する〔スリープモード〕	8
ディープスリープモードについて	8
トナー設定	9
トナーを連続して使用する	9
〔連続印刷設定〕	9
液晶ディスプレイ設定	10
液晶ディスプレイのコントラストを調整する	10
液晶ディスプレイの表示言語を設定する〔日本語・English〕	10
モード設定	11
モードタイマーを設定する	11
日付・時刻設定	12
日付・時刻を合わせる〔時計セット〕	12
セキュリティ設定	12
セキュリティ機能の種類	12
使用できる機能を制限する〔セキュリティ操作ロック〕	14
設定変更できる機能を制限する〔セキュリティ設定ロック〕	16
ナンバー・ディスプレイ設定	18
ナンバー・ディスプレイサービスとは	18
ナンバー・ディスプレイを設定する	18
第 2 章 ファクス送信	19
便利な送信方法	19
通話後にファクスを送信する	19
他の動作中にファクス原稿を読み込む〔デュアルアクセス〕	19
同じ原稿を数か所に送信する〔同報送信〕	19
原稿を読み取りながら送信する〔リアルタイム送信〕	20
相手の操作で原稿を送信する〔ポーリング送信〕	21
海外へ送信する〔海外送信モード〕	23
指定時刻に送信する〔タイマー送信〕	23
メモリ内の文書を同じ相手に一括送信する〔とりまとめ送信〕	23

便利な送信設定.....	24
送信したファクスに印刷される自分の名前と番号を登録する 〔発信元登録〕.....	24
発信元登録を消去する.....	25
送付書を付けて送信する.....	25
送付書のオリジナルコメントを登録する.....	26
送付書を印刷する.....	26
ファクス送信待ちを確認または解除する.....	26
画質を設定する.....	26
原稿濃度を設定する.....	27
便利な宛先指定方法.....	28
電話帳から検索する.....	29
同じ相手にもう一度送信する〔再ダイヤル〕.....	29
自動再ダイヤルを設定する.....	30
チェーンダイヤルを使用する.....	30
ファクス誤送信防止機能（ダイヤル制限）を設定する.....	31
特別設定について.....	32
特別回線対応を設定する.....	32
ダイヤルトーン検出の設定をする.....	32
安心通信モードを設定する.....	32
ナンバープレフィックスを設定する.....	33

第3章 ファクス受信 34

さまざまな受信方法.....	34
メモリ代行受信について.....	35
メモリ受信を設定する.....	35
メモリに受信したファクスを印刷する.....	35
電話呼び出し機能を設定する.....	36
呼び出し中にファクスを受信する.....	36
通話後にファクスを受信する.....	37
親切受信で受信する.....	37
本製品に接続されている電話機からファクスを受信させる〔リモート受信〕.....	38
本製品の操作で相手の原稿を受信する〔ポーリング受信〕.....	39
受信時の設定.....	41
受信スタンプを設定する.....	41
自動的に縮小して印刷する.....	41
印刷の濃さを設定する.....	41

第4章 転送・リモコン..... 42

ファクス転送機能.....	42
他の場所のファクシミリに転送する.....	42
外出先から本製品を操作する：リモコン機能.....	43
暗証番号を設定する.....	43
外出先から本製品を操作する.....	43
リモコンコードで設定できる機能〔コード一覧〕.....	44

第 5 章 レポート・リスト	46
レポート・リストの種類	46
送信結果レポートを表示する	47
レポート・リストを印刷する	47
レポートの出力を設定する	48
送信結果レポートの出力を設定する	48
通信管理レポートの出力間隔を設定する	48
第 6 章 必要なときに確認してほしいこと	49
文字を入力する	49
入力できる文字	49
文字の入力方法（変更方法）	49
入力例	50
記録紙のこと	51
記録紙の印刷可能範囲	51
原稿のこと	52
原稿サイズ	52
原稿の読み取り範囲	52
製品情報	53
製品情報の確認 / 印刷	53
最新のドライバーや、ファームウェア（本体ソフトウェア） を入手するには	53
設定機能の初期化	54
初期化とは	54
初期化のしかた	55
用語集	56
索引	59

本ガイドの表記

マークについて

本文中では、マークについて以下のように表記しています。

	本製品をお使いになるにあたって、守っていただきたいことを説明しています。
	本製品の操作手順に関する補足情報を説明しています。
⇒ XXX ページ 「XXX」	参照先を記載しています。(XXX はページ、参照先)
 「XXX」	ユーザーズガイド基本編の参照先を記載しています。(XXXはタイトル)
 「XXX」	かんたん設置ガイドの参照先を記載しています。(XXXはタイトル)
 「XXX」	ユーザーズガイド パソコン活用編の参照先を記載しています。(XXXはタイトル)
<XXX>	操作パネル上のボタンを表しています。(XXX はボタン名)
「XXX」	液晶ディスプレイに表示される項目や入力文字などを表しています。 (XXX は項目名や入力文字)

編集ならびに出版における通告

本ガイドならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。

ブラザー工業株式会社は、本ガイドに掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

© 2012 Brother Industries, Ltd. All rights reserved.

電話回線設定

手動で回線種別を設定する

自動で回線種別を設定できなかったときや、引越しなどで電話がかからなくなったときは、以下の手順で、利用中の電話回線に合わせて設定します。

1 本製品の受話器を取り、「ツー」という音が受話器から聞こえることを確認する

- ・聞こえないときは、受話器および電話機コードを正しく接続し直してください。詳しくは、⇒「かんたん設置ガイド」を参照してください。
- ・正しく接続し直しても聞こえないときは、別の電話機からご利用の電話会社にお問い合わせください。

2 <メニュー>→<0>→<4>を押す

3 <▲>または<▼>で回線種別を選択して、<OK>を押す

回線種別の詳細については、⇒6 ページ「利用中の電話回線の種別を調べる」を参照してください。

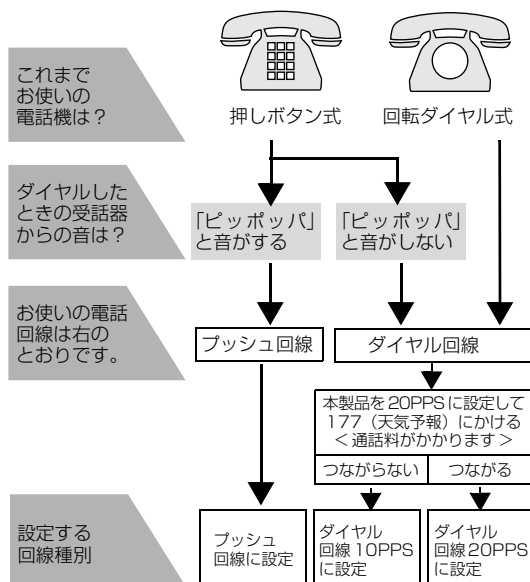
4 <停止/終了>を押す

補足

- プッシュ回線またはISDN回線をお使いの場合は、「プッシュ回線」を選択してください。
- ひかり電話をお使いの場合は「プッシュ回線」を選択してください。
- 設定を間違えると、間違った相手にかかったり、ファクスが送信できないことがありますのでご注意ください。
- IP電話対応機器（ADSLモデム、ルーター、IPフォンアダプタなど）に本製品を接続する場合
本製品の回線種別設定は、電話会社と契約している回線種別に手動で設定してください。回線種別を自動で設定した場合、「110」、「119」やフリーダイヤルなどに電話をかけられなかったり、ファクスの送信ができなくなる場合があります。

利用中の電話回線の種別を調べる

回線種別は、次の手順で調べることができます。もし、分からないときは、ご利用の電話会社にお問い合わせください。



補足

- 構内交換機（PBX）など一般と異なる回線についている場合は、自動設定できないことがあります。
- 一度自動設定すると電源を入れ直しても再度、回線種別の自動設定は行われません。設定し直したいときは、手動で設定を変更してください。

音量設定

着信音量を設定する

呼び出しベルの音量を調節します。

- 1 <メニュー>→<1>→<3>→<1>
を押す
- 2 <▲>または<▼>で音量を選択して、
<OK>を押す
- 3 <停止/終了>を押す

補足

<ファクス>が緑色に点灯しているときは着信音量を
<◀>または<▶>で調整できます。

ボタン確認音量を設定する 〔ボタン確認音量& ブザー音量〕

ボタン確認音（ダイヤルボタンなどを押したときに
鳴る音）やブザー音（間違った操作をしたとき、紙
づまりなど本製品に異常が起きたとき、ファクス送
受信が終了したときに鳴る音）の音量を調節します。

- 1 <メニュー>→<1>→<3>→<2>
を押す
- 2 <▲>または<▼>で音量を選択して、
<OK>を押す
- 3 <停止/終了>を押す

補足

「切」（ボタン確認音なし）を選んでも、エラーのときは
ブザー音が鳴ります。

スピーカー音量を設定する

手動でファクスを送信するとき、相手から「ピー」
という音が聞こえる場合の音量を調節します。

- 1 <メニュー>→<1>→<3>→<3>
を押す
- 2 <▲>または<▼>で音量を選択して、
<OK>を押す
- 3 <停止/終了>を押す

補足

スピーカー音量は、<オンフック/保留>を押してスピー
カーから「ツー」という音が聞こえているときに<◀>
または<▶>を押して調節することもできます。

受話音量を設定する

受話器を持って通話するときの音量を調整します。

- 1 <メニュー>→<1>→<3>→<4>
を押す
- 2 <▲>または<▼>で音量を選択して、
<OK>を押す
- 3 <停止/終了>を押す

補足

通話中に<◀>または<▶>を押すと、受話音量を変更
できます。

省エネ設定

トナーを節約する〔トナー節約モード〕

トナーを節約したいときは、「トナー節約モード」を「オン」に設定します。「オン」に設定すると印字が薄くなります。

- 1 <メニュー>→<1>→<4>→<1>
を押す
- 2 <▲>または<▼>で「オン」を選択して、<OK>を押す
- 3 <停止/終了>を押す

スリープモードに入る時間を設定する〔スリープモード〕

本製品は、受信したファクスの出力や印刷、コピーがすぐ開始できるよう常に一定の電気を供給しています。スリープモードは、設定した時間内にファクスの受信や印刷、コピーが行われなかったときにスリープ状態にして消費電力を減らします。ただし、ファクスの送受信、または電話機としての通話には影響ありません。

- 1 <メニュー>→<1>→<4>→<2>
を押す
- 2 ダイヤルボタンでスリープモードになるまでの時間を設定して、<OK>を押す
分単位で設定します。
- 3 <停止/終了>を押す

補足

スリープモードのときに、コピーや印刷をしようとすると、ウォーミングアップのために多少時間がかかります。

ディープスリープモードについて

本製品がスリープモードの場合、一定の時間内にファクスの受信や印刷、コピーが行われないと、自動的にディープスリープモードに切り替わり、液晶ディスプレイに「ディープスリープ」と表示されます。ディープスリープモードでは、スリープモードより少ない消費電力となり、本製品がファクスを受信したり、コンピューターからデータを受信したり、操作パネルのボタンを押したりすると、本製品は起動します。受話器を取ったり、戻したりした場合でも、起動します。

トナー設定

トナーを連続して使用する 〔連続印刷設定〕

液晶ディスプレイに「トナー交換」と表示された場合、「トナー継続使用」を「オン」に設定すると「トナー停止」が表示されるまでそのまま印刷を続けることができます。

注意

- 「トナー交換」が表示されたら、トナーの残量が少なくなっているため、トナーカートリッジの交換をおすすめします。
- 連続印刷設定で印刷する場合は、印刷保証できません。
- 連続印刷設定で印刷をしている間は、印字が薄くなることがあります。
- トナーカートリッジ交換後は、連続印刷設定は初期設定（「オフ」）に戻ります。

- 1 <メニュー>→<1>→<7>を押す
- 2 <▲>または<▼>で「オン」を選択して、<OK>を押す
- 3 <停止/終了>を押す

連続印刷設定でファクス受信する場合

液晶ディスプレイに「トナー交換」と表示されたときに「トナー継続使用」を「オン」に設定すると、本製品は受信したファクスを印刷し、自動的にメモリに保存します。

受信したファクスを連続印刷設定で印刷した場合、液晶ディスプレイに「1件の印刷済みファクスをメモリに蓄積しています。印刷されたファクスは読めますか?」と表示されます。

- 印刷品質が良い場合は、<1>を押す
液晶ディスプレイに「メモリに蓄積したファクスを消去しますか?」と表示されます。削除する場合は、<1>を押します。削除しない場合は<2>を押します。
- 印刷品質が良くない場合は、<2>を押す
本製品はメモリにファクスを保存します。新しいトナーカートリッジに交換後ファクスを再印刷することができます。

補足

- 本製品のメモリには、最大400ページまでのファクスを保存できます。
- 新しいトナーカートリッジに交換すると液晶ディスプレイに「Faxデータが残っています」と表示されます。メモリに保存されているファクスを印刷する場合は<1>を、削除する場合は<2>を押してください。
- 連続印刷設定を「オフ」に変更した場合でも本製品は、「オン」設定時に保存したファクスを保存します。

連続印刷設定時にトナーがなくなった場合

連続印刷設定時、液晶ディスプレイに「トナー停止」と表示された場合、本製品は受信したファクスを自動的にメモリに保存し、印刷を停止します。新しいトナーカートリッジに交換してください。

- メモリがいっぱいの状態でファクスの受信を継続する場合は、新しいトナーカートリッジに交換してください。
- 新しいトナーカートリッジに交換すると液晶ディスプレイに「Faxデータが残っています」と表示されます。<1>を押して、保存したファクスを印刷してください。

液晶ディスプレイ設定

液晶ディスプレイのコントラストを調整する

液晶ディスプレイが見えにくいときは、コントラストを調整します。

- 1 <メニュー>→<1>→<5>を押す
- 2 <◀>または<▶>でコントラストを調整して、<OK>を押す
- 3 <停止/終了>を押す

液晶ディスプレイの表示言語を設定する〔日本語・English〕

液晶ディスプレイに表示される言語を、英語または日本語に切り替えることができます。
お買い上げ時の設定は、日本語表示です。

英語表示に切り替える

英語による説明を以下に示します。
This setting allows you to change LCD language to English.

- 1 <メニュー>→<0>→<0>を押す
(Press <メニュー>→<0>→<0>)
- 2 <▲>または<▼>で「English」を選択して、<OK>を押す
(Press <▲> or <▼> to select "English".
Press <OK>.)
- 3 <停止/終了>を押す
(Press <停止/終了> to exit.)

日本語表示に切り替える

- 1 <メニュー>→<0>→<0>を押す
- 2 <▲>または<▼>で「日本語」を選択して、<OK>を押す
- 3 <停止/終了>を押す

モード設定

操作パネルのモード選択ボタンでファクス、コピーの各モードを選択することができます。現在選択されているモード選択ボタンは緑色に点灯します。

モードタイマーを設定する

各モードで操作後、自動的にファクスモードに戻る時間を設定することができます。「切」を選択すると、最後に使ったモードを保持します。

- 1
＜メニュー＞→＜1＞→＜1＞を押す
- 2
＜▲＞または＜▼＞で時間を選択して、
＜OK＞を押す
- 3
＜停止/終了＞を押す

日付・時刻設定

日付・時刻を合わせる〔時計セット〕

現在の日付と時刻を合わせます。この日付と時刻は液晶ディスプレイに表示されます。また、ファクス送信したとき、発信元登録がされていれば相手側の記録紙にも日付と時刻が印刷されます。

1 <メニュー>→<0>→<2>を押す

2 以下の手順で日付と時刻を設定する

- 1 年号（西暦の下2桁）を入力→<OK>
例：2013年の場合は「13」
- 2 月（2桁）を入力→<OK>
例：8月の場合は「08」
- 3 日付（2桁）を入力→<OK>
例：21日の場合は「21」
- 4 時刻（24時間制）を入力→<OK>
例：午後3時25分の場合は「1525」

3 <停止/終了>を押す

補足

- 設定終了後、液晶ディスプレイには次のように日付と時刻と受信モードが表示されます。

08/21 15:25 FAX
画質：標準

- 文字入力のかたについて⇒ 49 ページ「文字を入力する」を参照してください。
- 時刻はあくまで目安ですので、気になるときは1ヶ月おきに合わせてください。
- 60 時間以上停電した場合は、日付と時刻の再設定をしてください。

セキュリティ設定

パスワードを登録して設定変更を制限したり、ユーザーごとに利用できる機能を制限したりすることができます。

セキュリティ機能の種類

本製品のセキュリティ機能は以下の2種類があります。使用を制限したい内容にあわせて種類を選択してください。

補足

- パスワードが登録済みの場合、再登録の必要はありません。
- 登録したパスワードを忘れてしまったときは、お客様相談窓口へご連絡ください。

機能	対象	制限される内容		参照
セキュリティ 操作ロック	すべての ユーザー	使用できる 機能を制限	・呼び出し（電話） ・ファクス送信 ・コピー ・プリンター	⇒ 14 ページ「使用 できる機能を制限 する〔セキュリティ 操作ロック〕」

機能	対象	制限される内容	参照
セキュリティ 設定ロック	すべての ユーザー	設定変更できる機能を制限 ・ 日付 ・ 時刻 ・ 発信元登録 ・ 電話帳設定（ワンタッチ・短縮・グループダイヤル） ・ モードタイマー ・ 記録紙（タイプ・サイズ） ・ 音量（着信・ボタン確認音・スピーカー・受話音量） ・ 省エネモード（トナー節約モード・スリープモード） ・ 液晶ディスプレイのコントラスト ・ セキュリティ操作ロック ・ セキュリティ設定ロック ・ ダイヤル制限機能 ・ トナー継続使用 ・ ファクス受信設定 ・ ファクス送信設定（とりまとめ送信・送付書・自動再ダイヤル） ・ ファクスレポート設定 ・ ファクス応用機能（転送／メモリ受信・暗証番号） ・ 安心通信モード ・ ナンバーディスプレイ ・ コピー（画質・明るさ・コントラスト） ・ 受信モード ・ 回線種別設定 ・ ダイヤルトーン設定 ・ 特別回線対応 ・ ナンバープレフィックス ・ リセット ・ 表示言語	⇒16ページ「設定変更できる機能を制限する〔セキュリティ設定ロック〕」

補足

セキュリティ設定ロックが設定されている場合でも、＜オプション＞ボタンを使用して、一時的にコピー（画質・明るさ・コントラスト）の設定を変更することができます。⇒ユーザーズガイド基本編「画質を設定する」、⇒ユーザーズガイド基本編「明るさを設定する」、⇒ユーザーズガイド基本編「コントラストを設定する」を参照してください。

使用できる機能を制限する〔セキュリティ操作ロック〕

セキュリティ操作ロック機能の設定の流れを説明します。

補足

- セキュリティ操作ロックが設定されている場合でも下記の操作は行うことができます。

- ・ 着信（電話）※
- ・ ファクス受信
- ・ ファクス転送
（ファクス転送機能が「する」に設定されている場合）
- ・ 電話呼び出し
（電話呼び出し機能が設定されている場合）
- ・ リモコンアクセスでのメッセージの取り出しと消去
（メモリ受信機能が設定されている場合）

※通話はできません。セキュリティ操作ロックが設定されている場合でも、本製品に接続されている電話機では通話することができます。

STEP 1 パスワードを登録する

セキュリティ操作ロックを管理するためのパスワードを登録します。

⇒ 15 ページ「パスワードを登録する」



STEP 2 設定をオンにする

セキュリティ操作ロックを有効にします。

⇒ 15 ページ「セキュリティ操作ロックをオンにする」

パスワードを登録する

1 <メニュー>→<1>→<6>→<1>
を押す

2 以下の手順でパスワードを入力する
1 ダイヤルボタンでパスワード（4桁）を入力→<OK>
2 再度パスワードを入力→<OK>

3 <停止/終了>を押す

セキュリティ操作ロックをオンにする

1 <メニュー>→<1>→<6>→<1>
を押す

2 以下の手順で設定をオンにする
1 <▲>または<▼>（「セキュリティ設定」を選択）→<OK>
2 パスワード（4桁）を入力→<OK>

パスワードを変更する

1 <メニュー>→<1>→<6>→<1>
を押す

2 以下の手順でパスワードを変更する
1 <▲>または<▼>（「パスワード設定」を選択）→<OK>
2 登録済みパスワード（4桁）を入力→<OK>
3 新しいパスワード（4桁）を入力→<OK>
4 再度新しいパスワード（4桁）を入力→<OK>

3 <停止/終了>を押す

セキュリティ操作ロックをオフにする

1 <メニュー>を押す

2 登録済みパスワード（4桁）を入力後、<OK>を押す

設定変更できる機能を制限する〔セキュリティ設定ロック〕

セキュリティ設定ロック機能の設定の流れを説明します。

補足

- セキュリティ設定ロックが設定されている場合でもファクスメニューの「2.送信設定」の下記設定は行うことができます。
 - ・ 原稿濃度設定
 - ・ ファクス画質設定
 - ・ タイマー送信設定
 - ・ リアルタイム送信設定
 - ・ ポーリング送信設定
 - ・ 海外送信モード設定

STEP 1 パスワードを登録する

セキュリティ設定ロックを管理するためのパスワードを登録します。

⇒ 17 ページ「パスワードを登録する」

STEP 2 設定をオンにする

セキュリティ設定ロックを有効にします。

⇒ 17 ページ「セキュリティ設定ロックをオンにする」

パスワードを登録する

- 1 <メニュー>→<1>→<6>→<2>
を押す
- 2 以下の手順でパスワードを入力する
 - 1 ダイヤルボタンでパスワード（4桁）を入力→<OK>
 - 2 再度パスワードを入力→<OK>
- 3 <停止/終了>を押す

セキュリティ設定ロックをオンにする

- 1 <メニュー>→<1>→<6>→<2>
を押す
- 2 以下の手順で設定をオンにする
 - 1 <▲>または<▼>（「オン」を選択）→<OK>
 - 2 パスワード（4桁）を入力→<OK>
- 3 <停止/終了>を押す

パスワードを変更する

- 1 <メニュー>→<1>→<6>→<2>
を押す
- 2 以下の手順でパスワードを変更する
 - 1 <▲>または<▼>（「パスワード設定」を選択）→<OK>
 - 2 登録済みパスワード（4桁）を入力→<OK>
 - 3 新しいパスワード（4桁）を入力→<OK>
 - 4 再度新しいパスワード（4桁）を入力→<OK>
- 3 <停止/終了>を押す

セキュリティ設定ロックをオフにする

- 1 <メニュー>→<1>→<6>→<2>
を押す
- 2 以下の手順で設定をオフにする
 - 1 登録済みパスワード（4桁）を入力→<OK>
 - 2 <OK>
- 3 <停止/終了>を押す

ナンバー・ディスプレイ設定

本製品では、ご利用の電話会社との契約によって「ナンバー・ディスプレイサービス」をご利用いただくことができます。

ナンバー・ディスプレイサービスとは

電話やファクスがかかってきたときに相手の電話番号が、電話に出る前に液晶ディスプレイに表示されるサービスです。サービスの詳細については、ご利用されている電話会社にお問い合わせください。本製品ではナンバー・ディスプレイサービスで以下の機能が利用できます。

- 電話番号表示機能
電話がかかってくると、相手の電話番号が液晶ディスプレイに表示されます。
- 名前表示機能
電話帳に登録してある相手から電話がかかってくると、相手の名前と電話番号が液晶ディスプレイに表示されます。
- 着信履歴機能
電話がかかってくると、相手の電話番号を記録します。(30件まで記録できます。31件以上になると、古い順に削除されます。)
操作方法については⇒ユーザーズガイド基本編「ナンバー・ディスプレイの着信履歴を確認/登録する」を参照してください。

補足

- 本製品はキャッチホン・ディスプレイサービスには対応していません。
- ISDN回線を利用されているときは、ターミナルアダプタの設定が必要です。
- IP 電話を利用されているときは、VoIP アダプタ (IP 電話対応機器) の設定が必要です。
- 構内交換機 (PBX) に接続しているときは、ナンバー・ディスプレイサービスを利用できません。
- ブランチ接続 (並列接続) をしているとナンバー・ディスプレイは正常に動作しません。⇒「安全にお使いいただくために」を参照してください。
- 電話回線にガス検針器やホームセキュリティ装置などが接続されている場合は、ナンバー・ディスプレイ機能が正常に動作しないことがあります。

ナンバー・ディスプレイを設定する

電話番号の表示方法は以下の中から選択できます。

- 「オン」
本体の液晶ディスプレイに相手の電話番号または名前が表示されます。
- 「オフ」
相手の電話番号または名前が表示されません。
- 「外付け電話優先」
本製品に接続されている電話機に相手の電話番号または名前が表示されます。

1 <メニュー>→<2>→<0>→<2>
を押す

2 <▲>または<▼>で電話番号の表示
方法を選択して、<OK>を押す

3 <停止/終了>を押す

注意

「外付け電話優先」で使用する場合に本製品を「自動切換え」に設定すると、本製品と接続されている電話機の仕様により、ナンバー・ディスプレイの表示時間が短くなる電話機があります。

補足

- ナンバー・ディスプレイサービスを利用するには、電話会社への契約が必要です。契約していない場合は「オフ」にしてください。
- ナンバー・ディスプレイサービスを本製品で利用したいときは、本製品のナンバー・ディスプレイの設定を「オン」、本製品と接続されている電話機のナンバー・ディスプレイの設定を「オフ」にしてください。
- ナンバー・ディスプレイサービスを本製品と接続されている電話機で利用したいときは、本製品のナンバー・ディスプレイの設定を「外付け電話優先」、本製品と接続されている電話機のナンバー・ディスプレイの設定を「オン」にしてください。
- 「外付け電話優先」の場合、着信履歴は本製品に残りません。

便利な送信方法

通話後にファクスを送信する

相手と通話した後、受話器を戻さずにファクスを送信します。

- 1 相手先のファクシミリのスタートを押してもらう
- 2 原稿をセットして、＜スタート＞を押す
- 3 本製品の受話器、または本製品に接続されている電話機の受話器を戻す

他の動作中にファクス原稿を読み込む〔デュアルアクセス〕

ファクスの送受信中や印刷中でも、次に送りたいファクス原稿の読み込みができます。そのときもファクス画質などの設定ができます。ファクス原稿の読み込み中、液晶ディスプレイには新しいジョブ番号が表示されます。

補足

ファクスを手動で送信しているときや、リアルタイム送信時は、次に送りたいファクス原稿の読み込みができません。

同じ原稿を数か所に送信する〔同報送信〕

指定した複数の相手に同じ原稿を送信します。送信先は、ダイヤルボタンで直接入力するか、または、あらかじめ登録されているワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルから指定します（ダイヤルボタンで最大50か所、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルと合わせて最大272箇所まで指定できます）。

- 1 ファクスモードに切り替えて、原稿をセットする
- 2 宛先の入力方法を選ぶ
 - ・ 直接入力：
ダイヤルボタンで相手先のファクス番号を入力します。
 - ・ 電話帳：
リストから相手先を選択します。
- 3 宛先を指定して、＜OK＞を押す

同様の手順ですべての宛先を指定します。
1件登録するごとに以下の画面が表示されますが、すべての宛先を指定し終えるまで＜スタート＞は押さないでください。

ダイヤルしてください
スタートボタンを押してください

4 <スタート>を押す

- 原稿の読み込みが開始され、指定した送信先に送信が開始されます。
- すべての送信が終了すると、自動的に同報送信レポートが印刷され、待機状態に戻ります。
- 同報送信レポートを確認し、「エラー」などで送られていない送信先にもう一度送信してください。

補足

- 送信途中でキャンセルするには<停止/終了>を押してください。液晶ディスプレイに送信先をキャンセルするかどうかを確認する画面が表示されるので、液晶ディスプレイの表示に従ってください。すべての送信先をキャンセルしたい場合は<メニュー>→<2>→<7>で送信待ち一覧に移行してからジョブを解除してください。⇒26ページ「ファクス送信待ちを確認または解除する」を参照してください。
- 送信先を間違えたときは、<停止/終了>を押して最初から入力し直してください。
- 送信できる枚数はメモリの残量によっても制限されます。
- 送信先を重複して指定したときは、自動的に重複している部分が削除されます。
- 原稿読み込み中に「メモリがいっぱいです」と表示されたら<停止/終了>を押して中止してください。原稿が複数枚の場合は、<スタート>を押して読み込まれた分だけ送信することもできます。

原稿を読み取りながら送信する 〔リアルタイム送信〕

原稿を読み取りながら送信します。送信状況を確認しながら送信できます。

1 ファクスモードに切り替えて、原稿をセットする

2 <メニュー>→<2>→<2>→<5>を押す

3 <▲>または<▼>でリアルタイム送信の設定を選択して、<OK>を押す

4 <2>を押す

その他のファクス送信設定を変更する場合は、<1>を押してください。

5 宛先を指定して、<スタート>を押す

補足

- リアルタイム送信を「オン」に設定すると、原稿はメモリに蓄積されません。
- リアルタイム送信で指定できる相手先は1件です。
- ADFに原稿がセットされていないと、リアルタイム送信を「今回のみ:オン」または「今回のみ:オフ」に設定することができません。
- リアルタイム送信は、自動再ダイヤルされません。
- メモリがいっぱいになると、「オフ」に設定されていてもリアルタイム送信されます。

相手の操作で原稿を送信する〔ポーリング送信〕

相手側のファクシミリからの操作で、本製品にセットした原稿を自動的に送信します。これをポーリング送信といいます。

補足

- 相手先のファクシミリにポーリング機能がないときなどは、ポーリング送信が利用できないことがあります。また、機密ポーリング送信を行う場合は、相手先がブラザー製のファクシミリである必要があります。
- ポーリング送信が終了すると、自動的に送信結果を示すポーリング送信レポートが印刷されます。
- ポーリング送信の場合、通話料は相手側の負担となります。
- ポーリング送信を解除したいときは⇒26ページ「ファクス送信待ちを確認または解除する」を参照してください。
- リアルタイム送信が「オン」に設定されている場合、原稿をメモリに保存することができません。原稿をメモリに保存する場合は、リアルタイム送信を「オフ」に設定してください。⇒20ページ「原稿を読み取りながら送信する〔リアルタイム送信〕」を参照してください。

ポーリング送信の種類

ポーリング送信の種類	液晶ディスプレイ表示	内容
標準ポーリング送信	標準	相手側のファクシミリからの操作で、本製品にセットした原稿を自動的に送信します。
機密ポーリング送信	機密	受信側と送信側が同じ4桁のパスワードを使用して、パスワードを知っている人だけが原稿を受け取ることができます。機密ポーリング送信の設定をする前に、受信側と4桁のパスワードを決めておく必要があります。受信側とパスワードが一致したときだけ送信することができます。

ポーリング送信する

1 ファクスモードに切り替えて、原稿をセットする

2 <メニュー>→<2>→<2>→<6>を押す

3 <▲>または<▼>でポーリング送信の種類を選択して、<OK>を押す

機密ポーリング送信は、ダイヤルボタンでパスワード（4桁）を入力した後、<OK>を押す

4 <1>を押す

原稿をメモリに保存する場合は<2>を押す

補足

- 「1.原稿」を選択した場合、ポーリング送信が終了するまで原稿は ADF に残ります。ポーリング送信が行われる前に本製品を使用する場合は、ポーリング送信をキャンセルしてください。
- 「2.メモリ」を選択した場合、原稿は ADF に残らず、その場でメモリに保存されます。保存された原稿は、メモリから削除されるまでポーリング送信可能です。
- 原稿をメモリから削除する場合は、⇒26 ページ「ファクス送信待ちを確認または解除する」を参照してください。

5 <2>を押す

その他のファクス送信設定を変更する場合は、<1>を押してください。

6 <スタート>を押す

海外へ送信する〔海外送信モード〕

海外へ送信するときは、回線の状況などによって正常に送信できないことがあります。このようなときには海外送信モードを「オン」に設定してから送信を行うと、通信エラーが少なくなります。

1 ファクスモードに切り替えて、原稿をセットする

2 <メニュー>→<2>→<2>→<9>を押す

3 <▲>または<▼>で「オン」を選択して、<OK>を押す

4 <2>を押す

その他のファクス送信設定を変更する場合は、<1>を押してください。

5 宛先を指定して、<スタート>を押す

補足

- 相手のファクシミリとつながるまで時間がかかるために送信できないとき、ADFに原稿がある場合は手動送信で相手の「ピー」という信号音を聞いてから<スタート>を押して送信してください。
- 1回の送信が終了すると、海外送信モードの設定は、自動的に「オフ」に戻ります。
- 海外送信モードを「オン」にしたときは、通信速度が遅くなって送信時間がかかり、電話料金が高くなる場合があります。

指定時刻に送信する〔タイマー送信〕

24時間以内の指定した時刻に、原稿を自動的に送信します。

1 ファクスモードに切り替えて、原稿をセットする

2 <メニュー>→<2>→<2>→<3>を押す

3 送信する時刻を入力して、<OK>を押す

例：午後3時5分の場合は「1505」

4 <1>を押す

原稿をメモリに保存する場合は<2>を押す

5 <2>を押す

その他のファクス送信設定を変更する場合は、<1>を押してください。

6 宛先を指定して、<スタート>を押す

補足

- タイマー送信が終了すると、自動的にタイマー送信レポートが印刷され、送信結果を知らせてくれます。
- メモリに読み込める原稿枚数は原稿の内容によって異なります。
- 相手が話し中などで送信できなかったときは、5分おきに3回まで再ダイヤルします。
- リアルタイム送信が「オン」に設定されている場合、原稿をメモリに保存することができません。原稿をメモリに保存する場合は、リアルタイム送信を「オフ」に設定してください。
⇒20ページ「原稿を読み取りながら送信する〔リアルタイム送信〕」を参照してください。

メモリ内の文書を同じ相手に一括送信する〔とりまとめ送信〕

メモリに読み込まれているタイマー送信用のメッセージの中に、相手先と送信する時間が同じものがある場合、1回の通信で設定された時間に送信することができます。

1 <メニュー>→<2>→<2>→<4>を押す

2 <▲>または<▼>で「オン」を選択して、<OK>を押す

3 <停止/終了>を押す

便利な送信設定

送信したファクスに印刷される自分の名前と番号を登録する〔発信元登録〕

発信元登録を行うと、ファクスを送信したとき、登録した情報（お客様の名前とファクス番号）が相手側の記録紙の先頭に印刷されます。

2013/08/21 15:25 03XXXXXXXX ブラザー タロウ ページ 01/01

〇〇〇のお知らせ

拝啓

平素は格別のお引立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、先日ご依頼のありました〇〇のカタログを送付いたします。何とぞ詳細にご検討くださいますようお願い申し上げます。

1 <メニュー>→<0>→<3>を押す

2 以下の手順で発信元を登録する

- 1 ファクス番号を入力→<OK>
- 2 電話番号を入力→<OK>
- 3 名前を入力→<OK>

補足

- ファクス番号と電話番号は、20 桁まで登録できます。カッコ「()」、ハイフン「-」は登録できません。
- 名前は20文字まで登録できます。
- 電話とファクスを同一回線（1 番号）で使用している場合は、ファクス番号と電話番号が同じ番号になりますのでファクス番号を入力してください。

補足

- リモートセットアップ機能を利用すると、コンピューターから登録することもできます。詳しくは⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「リモートセットアップ」を参照してください。
- 文字入力のかたについて⇒49 ページ「文字を入力する」を参照してください。
- 発信元データ（ファクス番号、電話番号、名前）を登録しないと、送付書を送信することはできません。送付書については⇒25 ページ「送付書を付けて送信する」を参照してください。

3 <停止/終了>を押す

発信元登録を消去する

1 <メニュー>→<0>→<3>を押す

2 以下の手順で発信元を消去する

- 1 <2> (「消去」を選択)
- 2 <1> (「はい」を選択)

3 <停止/終了>を押す

送付書を付けて送信する

ファクスに送付書を付けて送信することができます。送付書には相手先名、こちらの名前、コメントなどが印刷されます。

送付書は以下の中から選択できます。

- ・「今回のみ：オン」：今回のみ送付書を付ける
- ・「今回のみ：オフ」：今回のみ送付書を付けない
- ・「オン」：毎回送付書を付ける
- ・「オフ」：毎回送付書を付けない

注意

発信元データ(ファクス番号、電話番号、名前)を登録しないと送付書送信の設定ができません。⇒24ページ「送信したファクスに印刷される自分の名前と番号を登録する〔発信元登録〕」を参照してください。

1 ファクスモードに切り替えて、原稿をセットする

2 <メニュー>→<2>→<2>→<7>を押す

3 <▲>または<▼>で送付書の設定を選択して、<OK>を押す

以下の送付書の設定は、続けて次の操作を行ってください。

- ・「今回のみ：オン」
<▲>または<▼>でコメントを選択して、<OK>を押します。
続けて送信枚数を入力して、<OK>を押します。
- ・「オン」
<▲>または<▼>でコメントを選択して、<OK>を押します。

4 <2>を押す

その他のファクス送信設定を変更する場合は、<1>を押してください。

5 宛先を指定して、<スタート>を押す

補足

- オリジナルコメントの登録のしかたは⇒26ページ「送付書のオリジナルコメントを登録する」を参照してください
- 送付書送信を「オン」に設定したときには、送信枚数の設定はできません。
- 送付書の、「T0:」の名前はあらかじめ電話帳に登録されていないと表示されません。⇒ユーザズガイド 基本編「電話帳に登録する」を参照してください。

送付書のオリジナルコメントを登録する

オリジナルコメントを作成し、送付書のコメントとして登録することができます。

1 <メニュー>→<2>→<2>→<8>を押す

2 以下の手順でコメントを登録する
 1 <▲>または<▼>（コメントを登録する箇所（5または6）を選択）→<OK>
 2 コメントを入力→<OK>

補足

コメントは26文字まで入力できます。文字の入力のしかたについては⇒49ページ「文字を入力する」を参照してください。

送付書を印刷する

送付書のプリントサンプルを出力することができます。

1 <メニュー>→<2>→<2>→<7>を押す

2 <▲>または<▼>で【印刷サンプル】を選択して、<OK>を押す

3 <スタート>を押す

4 <停止/終了>を押す

ファクス送信待ちを確認または解除する

メモリ送信の待ち状況を確認できます。
 メモリ送信、タイマー送信などのジョブを解除します。

1 <メニュー>→<2>→<7>を押す

2 <▲>または<▼>で解除する内容を選択して、<OK>を押す
 確認のみのときは<停止/終了>を押します。

3 解除するときは<1>を押す
 解除を中止するときは<2>を押します。

4 <停止/終了>を押す

補足

送信待ちのファクスがないときには「通信待ちはありません」と表示されます。

画質を設定する

原稿の文字の大きさや写真の有無に合わせて、画質モードを設定して、ファクスを送信することができます。

画質は以下の中から選択できます。

- 「標準」（標準モード）：大きくはっきり見える文字のとき
- 「ファイン」（ファインモード）：小さい文字のとき
- 「スーパーファイン」（スーパーファインモード）：新聞のように細かい文字のとき
- 「写真」（写真モード）：写真を含む原稿のとき

補足

- ファイン、スーパーファインまたは写真モードで送ると、標準モードに比べて送信時間が長くなります。
- 写真モードの送信で相手機が標準モードしかない場合は、画質が劣化します。

一時的に変更する

ここで設定した画質モードは、ファクス送信が終わると元に戻ります。

1 ファクスモードに切り替えて、原稿をセットする

2 <ファクス画質>を繰り返し押しして画質を選択して、<OK>を押す <▲>または<▼>でも画質を選択することができます。

3 宛先を指定して、<スタート>を押す

設定内容を保持する

ここで設定した画質モードは、次に変更するまで有効です。

1 ファクスモードに切り替えて、原稿をセットする

2 <メニュー>→<2>→<2>→<2>を押す

3 <▲>または<▼>で画質を選択して、<OK>を押す

4 <2>を押す その他のファクス送信設定を変更する場合は、<1>を押してください。

5 宛先を指定して、<スタート>を押す

原稿濃度を設定する

原稿に合わせ濃度を変更して、ファクスを送信します。原稿濃度は以下の中から選択できます。

- 「自動」：普通の文字の原稿が多いときに設定します。
- 「薄く」：濃い色の原稿が多い場合に設定します。
- 「濃く」：えんぴつ書きなどの薄い文字を使った原稿が多い場合に設定します。

ファクスの送信が終わると「自動」に戻ります。

1 ファクスモードに切り替えて、原稿をセットする

2 <メニュー>→<2>→<2>→<1>を押す

3 <▲>または<▼>で原稿濃度を選択して、<OK>を押す

4 <2>を押す その他のファクス送信設定を変更する場合は、<1>を押してください。

5 宛先を指定して、<スタート>を押す

便利な宛先指定方法

宛先を指定するには次の方法があります。

指定方法	詳細	準備しておくこと	参照
ダイヤルボタン	入力した番号に送信します。	—	⇒ユーザーズガイド 基本編「ファクス を手動で送信する」
ワンタッチ ダイヤル	ワンタッチボタンに登録されている番号に 送信します。	⇒ユーザーズガイド 基本編「ワンタッチ ダイヤルに登録す る」	⇒ユーザーズガイド 基本編「ワンタッチ ダイヤルを使用す る」
短縮ダイヤル	短縮ダイヤルに登録されている番号に送信 します。	⇒ユーザーズガイド 基本編「短縮ダイヤ ルに登録する」	⇒ユーザーズガイド 基本編「短縮ダイヤ ルを使用する」
電話帳から検索	電話帳（ワンタッチダイヤル / 短縮ダイヤ ル / グループダイヤル）に登録されている 名前の読みがなから番号を指定して送信し ます。	⇒ユーザーズガイド 基本編「ワンタッチ ダイヤルに登録す る」 ⇒ユーザーズガイド 基本編「短縮ダイヤ ルに登録する」	⇒ 29 ページ「電話 帳から検索する」
再ダイヤル	最後にかけた番号にもう一度送信します。	—	⇒ 29 ページ「同じ 相手にもう一度送信 する〔再ダイヤル〕」
チェーンダイヤル	ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録 した番号を相手先の電話番号やファクス番 号につなげてダイヤルすることができます。 例えば・・・ ・電話番号の前に識別番号を付けて電話代 を節約する。 →短縮ダイヤルに識別番号を登録しておい て、電話番号と組み合わせてダイヤルする。 ・国際電話をかける手間を省く。 →国名と国番号を登録しておく、簡単に 国際電話をかけることができます。	⇒ユーザーズガイド 基本編「ワンタッチ ダイヤルに登録す る」 ⇒ユーザーズガイド 基本編「短縮ダイヤ ルに登録する」	⇒30 ページ「チェー ンダイヤルを使用す る」



ボタンを押すのを間違えたときは、必ず<停止/終了>を押し、消去してから再度送信先を入力してください。

電話帳から検索する

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録した番号は、すべて電話帳から読みがなで検索することができます。

検索のしかたは以下のとおりです。

1 <▲>を2回押す

2 検索したい名前の読みがなの最初の文字を入力して、<OK>を押す

入力した文字から始まる名前が50音順、またはアルファベット順に表示されます。

3 <▲>または<▼>で該当の名前を選択して、<OK>押す

補足

- 電話帳登録のしかたは⇒ユーザーズガイド 基本編「ワンタッチダイヤルを登録する」⇒ユーザーズガイド 基本編「短縮ダイヤルを登録する」を参照してください。
- グループダイヤルの登録のしかたは⇒ユーザーズガイド 基本編「グループダイヤルを登録する」を参照してください。
- 登録されている相手先名称の一覧（電話帳リスト）を印刷することができます。印刷のしかたについては⇒46ページ「レポート・リストの種類」を参照してください。
- 文字入力のしかたについては⇒49ページ「文字を入力する」を参照してください。

同じ相手にもう一度送信する 〔再ダイヤル〕

1 ファクスモードに切り替えて、原稿をセットする

2 <再ダイヤル/ポーズ>を押して最後にかけた番号が表示された後、<スタート>を押す

補足

自動再ダイヤルについて

- ・ 自動送信でファクス送信しようとして、相手が通話中などで送信できなかったときは自動的に再ダイヤルして送信します。自動再ダイヤルは5分間隔で3回繰り返します。
- ・ 自動送信で再送信を繰り返す場合は相手先の電話番号を確認してください。
- ・ 自動再ダイヤルを3回繰り返しても送信できなかったときは、送信を中止し、送信結果レポートが印刷されます。「結果」の欄が「応答なし」または「話し中」であることを確認し、再度送信してください。
- ・ 自動再ダイヤルは、自動送信時のみ有効な機能です。
- ・ ADF（自動原稿送り装置）からのリアルタイム送信は、自動再ダイヤルされません。
- ・ 送信した内容が相手先に届いても、本製品が相手先ファクスからの受信が正しく行われたメッセージ信号を受信できなかった場合、通信エラーと処理され、自動的に再ダイヤルします。

自動再ダイヤルを設定する

相手が通話中などでファクス送信できなかったときに、自動で再ダイヤルするかどうかを設定します。設定は以下の中から選択できます。

- 「オン」:
相手が通話中などでつながらなかったときは、自動で再ダイヤルを行います。
- 「オフ」:
自動で再ダイヤルを行いません。回線が切れると、すぐに送信レポートが印刷されます。
お買い上げ時は「オン」に設定されています。

1 <メニュー>→<2>→<2>→<0>
を押す

2 <▲>または<▼>で設定を選択して、
<OK>を押す

3 <停止/終了>を押す

チェーンダイヤルを使用する

短縮ダイヤル、ワンタッチダイヤル、ダイヤルボタンの直接入力を組み合わせて宛先を指定することができます。

1 ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルで番号を指定する

- ワンタッチダイヤル
ワンタッチボタンを押します。
12～22を指定するときは、<Shift>を押しながらワンタッチボタンを押します。
- 短縮ダイヤル
<▲>を押して、短縮ダイヤル番号を押します。

2 続けて組み合わせる番号をワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、ダイヤルボタンで指定して、<スタート>を押す

補足

電話番号の途中にポーズを入力するには、<再ダイヤル/ポーズ>を押します。

ファクス誤送信防止機能（ダイヤル制限）を設定する

誤って間違った相手に電話をかけたり、ファクスを送信しないように、ダイヤル発信を制限することができます。制限するダイヤルと制限内容は以下のとおりです。

制限の種類	操作
直接入力	<メニュー> → <2> → <6> → <1>
ワンタッチダイヤル	<メニュー> → <2> → <6> → <2>
短縮ダイヤル	<メニュー> → <2> → <6> → <3>

制限の設定は以下の中から選択できます。

- 「オフ」：ダイヤル制限機能はできません。
- 「2度入力」：
電話番号、またはファクス番号の再入力が必要で、正しい番号を入力した場合にのみ、ダイヤル発信を行います。間違った番号を入力すると、エラーメッセージが表示されます。
- 「オン」：すべてのダイヤル発信ができなくなります。

注意

- <オンフック/保留>を押してからダイヤルする場合は、「2度入力」設定はできません。
- 外付け電話を使用した場合は、ファクス誤送信機能（ダイヤル制限）設定は働きません。
- <再ダイヤル/ポーズ>を押して再ダイヤルする操作は禁止できません。
- 「オン」または「2度入力」に設定すると、同報送信やチェーンダイヤルは使用できません。

1 <メニュー>を押した後、ダイヤルボタンで制限する種類に該当する操作を行う

入力する番号は表の「操作」を参照してください。

2 <▲>または<▼>で設定を選択して、<OK>を押す

3 <停止/終了>を押す

特別設定について

使用状況に応じて設定をしてください。

特別回線対応を設定する

ファクスがうまく送受信できないときなどに使用している回線を特定し、設定します。

- 1 <メニュー>→<0>→<6>を押す
- 2 <▲>または<▼>で回線を選択して、<OK>を押す
- 3 <停止/終了>を押す

補足

「PBX」に設定すると、自動的にナンバー・ディスプレイの設定が「オフ」になります。ナンバー・ディスプレイの設定を再度「オン」にするときは、特別回線対応の設定を「一般」にしてください。

ダイヤルトーン検出の設定をする

本製品を構内交換機（PBX）やIP電話アダプタに接続していると、発信できなくなる場合があります。その場合は「検知しない」にしてください。

- 1 <メニュー>→<0>→<5>を押す
- 2 <▲>または<▼>で設定を選択して、<OK>を押す
- 3 <停止/終了>を押す

安心通信モードを設定する

通信エラーが発生しやすい相手や回線でファクスをより確実に送受信したいときに設定します。「安心（VoIP）」に設定することによって送受信時間は遅くなりますが、送受信できる可能性が高くなります。

- 1 <メニュー>→<2>→<0>→<1>を押す
- 2 <▲>または<▼>で回線を選択して、<OK>を押す
- 3 <停止/終了>を押す

補足

- IPフォンで送信エラーが発生する場合は、電話番号の前に「0000」（ゼロを4つ）付けておかけください。この場合、通信料金はNTTなどのお客様がご利用になっている電話会社からの請求となります。
 - ファクスの送信エラーには、次のような多くの要素があります。
 - ・ 通信回線の品質
 - ・ 信号レベル
 - ・ 通信相手の影響
 - ・ 屋内線の配線や接続している機器の影響
- 本製品側だけで通信エラーを解消できるものではありません。

ナンバープレフィックスを設定する

構内交換機（PBX）などの使用時、外線にダイヤルするときに必要な番号をあらかじめ登録しておきます。PBXのある環境で、電話帳の設定を変更せずに外線にダイヤルできます。

.....
1 <メニュー>→<0>→<7>を押す

.....
2 あらかじめ登録するダイヤルの内容を設定して、<OK>を押す

- 登録できる番号は最大5桁です。
- 0～9、*、#、!が登録できます。

.....
3 <停止/終了>を押す

補足

- 登録した場合は、ダイヤルボタンからの入力やワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル使用時に設定した内容が付加されます。付加しない場合は登録しないでください。
- <オンフック/保留>を押して「!」を入力すると、番号の登録はできません。
- ダイヤル10PPS、ダイヤル20PPS回線をご利用の場合は*、#を登録できません。

さまざまな受信方法

ファクス受信には大きく分けて2つの方法があります。

- ・ 自動的に受信：一度設定すると、受信時の操作は必要ありません。
- ・ 手動で受信：受信時に本製品、または本製品に接続されている電話機を操作する必要があります。

以下の表を参考に受信方法を選択してください。

受信方法			内容	参照
自動的に受信	自動受信	本体から記録紙に印刷	設定した回数の着信音が鳴り終わると、本製品が自動的にファクスを受信し、印刷します。	⇒ ユーザーズガイド 基本編「受信モードの種類」
	メモリ代行受信	本体のメモリで受信	自動受信を設定しているときでも、記録紙がないなど印刷できない場合には、自動的にメモリに受信します。	⇒ 35 ページ「メモリ代行受信について」
	メモリ受信		受信したファクスをメモリに蓄積します。あとから印刷したり、外出先から取り出したりすることができます。	⇒ 35 ページ「メモリ受信を設定する」 ⇒ 35 ページ「メモリに受信したファクスを印刷する」
	電話呼び出し受信		受信したファクスをメモリに蓄積して、登録しておいた電話番号に自動的にダイヤルしてファクスを受信したことを知らせます。	⇒ 36 ページ「電話呼び出し機能を設定する」
手動で受信	呼び出し中受信	本製品の操作で受信	呼び出しベルが鳴っている間に本製品の受話器を取り、本製品を操作してファクスを受信します。	⇒ 36 ページ「呼び出し中にファクスを受信する」
		電話機のリモート操作で受信〔リモート受信〕	呼び出しベルが鳴っている間に本製品に接続されている電話機の受話器を取り、電話機からのリモート操作でファクスを受信します。	⇒ 36 ページ「呼び出し中にファクスを受信する」 ⇒ 38 ページ「本製品に接続されている電話機からファクスを受信させる〔リモート受信〕」
	通話後受信	本製品の操作で受信	相手と通話した後に本製品を操作してファクスを受信します。	⇒ 37 ページ「通話後にファクスを受信する」
		電話機のリモート操作で受信〔リモート受信〕	相手と通話した後に本製品に接続されている電話機からのリモート操作でファクスを受信します。	⇒ 37 ページ「通話後にファクスを受信する」 ⇒ 38 ページ「本製品に接続されている電話機からファクスを受信させる〔リモート受信〕」
	親切受信	電話機の受話器を取って受信	本製品の受話器、または本製品に接続されている電話機の受話器を取ったとき相手がファクスだった場合、受話器を上げたまま7秒待つと自動的にファクスを受信することができます。	⇒ 37 ページ「親切受信で受信する」
	ポーリング受信	本製品の操作で受信	本製品からの操作で、相手側ファクシミリにセットされた原稿を受信します。	⇒ 39 ページ「本製品の操作で相手の原稿を受信する〔ポーリング受信〕」

メモリ代行受信について

以下の状況になった場合、本製品は、送られてきたファクスを自動的にメモリに蓄積します（メモリ代行受信）。

- ・カバーが開いているとき（「カバーが開いています」）
- ・記録紙がなくなったとき（「記録紙を送れません」）
- ・トナーがなくなったとき（「トナー交換」）
- ・記録紙が詰まったとき（「紙詰まり XXX」）
- ・記録紙のサイズを間違えてセットしたとき（「用紙サイズが合いません」）

液晶ディスプレイの指示に従って処置をすると、メモリが代行受信したファクスを自動的に印刷します。印刷されたファクスはメモリから消去されます。

注意

メモリがいっぱいになると、それ以降はメモリ代行受信はできません。

メモリ受信を設定する

メモリ受信を設定すると、受信したファクスをメモリに蓄積して、あとから印刷したり、外出先から取り出すことができます。

補足

メモリ受信と、電話呼び出し機能、ファクス転送は同時に使用することはできません。

1 <メニュー>→<2>→<5>→<1>
を押す

2 <▲>または<▼>で「メモリ受信」を選択して、<OK>を押す

3 <停止/終了>を押す

補足

- メモリ受信は最大400ページまでできます。（ただしメモリの残量や原稿の内容によって変化します。）
- 記録紙がないときは、メモリ受信の設定が「オフ」に設定されていても、メモリ代行受信を行います。
- メモリに蓄積されたファクスを外出先から取り出さないまま、メモリ受信を「オフ」にすると「ファクスを消去しますか？ 1.はい 2.いいえ」が表示されます。設定を解除しないでファクスの内容をメモリに残しておくときは、<2>を押してください。<1>を押すとメモリから消去されます。

メモリに受信したファクスを印刷する

メモリ受信が設定されているときに、メモリ受信でメモリに蓄積されたファクスを印刷するとともに、メモリから消去します。

1 <メニュー>→<2>→<5>→<3>
を押す

2 <スタート>を押す

3 印刷終了後、<停止/終了>を押す

補足

メモリに何も蓄積されていないと液晶ディスプレイに「データがありません」と表示されますので<停止/終了>を押してください。

電話呼び出し機能を設定する

ファクスを受信すると自動的に登録した呼び出し先の電話番号にダイヤルする機能です。電話に出ると、「ポッポッ」という音でファクスを受信したことを知らせます。

補足

電話呼び出し機能と、メモリ受信、ファクス転送は同時に使用することはできません。

1 <メニュー>→<2>→<5>→<1>を押す

2 以下の手順で電話呼び出しを設定する

- 1 <▲>または<▼>（「電話呼び出し」を選択）→<OK>
- 2 呼び出し番号を入力（最大20桁）→<OK>

3 <停止/終了>を押す

補足

電話呼び出し機能を設定したときは、登録しておいた電話番号にダイヤルしてファクスを受信したことを知らせます。外出先のファクシミリから受信したファクスを取り出すこともできます。⇒45 ページ「外出先からファクスを取り出す」を参照してください。

注意

電話呼び出し機能の呼び出し先電話番号は、外出先から変更することはできません。

呼び出し中にファクスを受信する

呼び出しベルが鳴っている間に本製品の受話器、または本製品に接続されている電話機の受話器を取り、ファクスを受信します。

1 呼び出しベルが鳴ったら、本製品の受話器、または本製品に接続されている電話機の受話器を取る

2 「ポーポー」という音が受話器から聞こえたら、受信操作を行う

- ・本製品から受信する
＜スタート＞を押します。
- ・電話機のリモート操作で受信する
本製品に接続されている電話機で、リモート起動番号「#51」を押します。
リモート受信の詳細は⇒38 ページ「本製品に接続されている電話機からファクスを受信させる〔リモート受信〕」を参照してください。
- ・相手と通話した後にファクスを受信したいときは、⇒37 ページ「通話後にファクスを受信する」を参照してください。

3 受話器を戻す

補足

- 電話に出なかったときの動作は、受信モードの設定によって異なります。受信モードについては⇒ユーザーズガイド 基本編「受信モードの種類」を参照し、用途に合ったモードを設定してください。
- 親切受信を「オン」に設定している場合は、そのまま約7秒間待つと自動でファクスを受信できます。⇒37 ページ「親切受信で受信する」を参照してください。
- 呼び出し回数を7～10回に設定すると、特定の相手からのファクスが自動で受信できない場合があります。呼び出し回数を6回以下に設定されることをお勧めします。詳しくは、⇒ユーザーズガイド 基本編「呼び出し回数を設定する」を参照してください。
- 相手が手動送信のファクスのときは受話器を取っても無音のときがありますので、相手が電話でないことを口頭で確認してから、本製品の受話器を取った場合は、＜スタート＞を押します。
本製品に接続されている電話機の受話器を取った場合は、電話機でリモート起動番号「#51」を押します。リモート受信の詳細は、⇒38 ページ「本製品に接続されている電話機からファクスを受信させる〔リモート受信〕」を参照してください。
- ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットしてあると送信されてしまうため、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていないことを確認してください。

通話後にファクスを受信する

相手と通話した後、受話器を戻さずにファクスを受信します。

1 相手先のファクシミリに原稿をセットし、スタートを押してもらう

2 「ポーポー」という音が受話器から聞こえたら、受信操作を行う

- 本製品から受信する
＜スタート＞を押します。
- 電話機のリモート操作で受信する
本製品に接続されている電話機のダイヤルボタンで、リモート起動番号「#51」を入力します。
リモート受信の詳細は⇒38 ページ「本製品に接続されている電話機からファクスを受信させる〔リモート受信〕」を参照してください。

注意

ダイヤル回線（20PPS、10PPS）に設定してある場合でリモート受信を行うときは、本製品に接続されている電話機のトーンボタンを押してトーン（PB）信号に切り替えてから、リモート起動番号を入力します。

3 受話器を戻す

親切受信で受信する

本製品の受話器、または本製品に接続されている電話機の受話器を取ったときに相手がファクスだった場合、受話器を上げたまま7秒待つと、自動的にファクスを受信することができます。

1 <メニュー>→<2>→<1>→<4>を押す

2 <▲>または<▼>で親切受信の方法を選択して、<OK>を押す

3 <停止/終了>を押す

補足

受信時の操作

- 親切受信を「オン」に設定している場合
 - 本製品の受話器、または本製品に接続されている電話機の受話器を取って、「ポーポー」という音が聞こえた場合に約7秒間待つと自動的にファクス受信を始めます。液晶ディスプレイに「受信中」と表示されたら受話器を戻します。
 - 回線の状態により「ポーポー」という音が聞こえても、自動的にファクスに切り替わらないときがあります。本製品の受話器を取った場合は、＜スタート＞を押します。
 - 本製品に接続されている電話機からリモート受信することもできます。詳しくは、⇒38 ページ「リモート受信の操作のしかた」を参照してください。
- 親切受信を「本体」に設定している場合

本製品の受話器を取って、「ポーポー」という音が聞こえた場合に約7秒間待つと自動的にファクス受信を始めます。液晶ディスプレイに「受信中」と表示されたら受話器を戻します。

本製品に接続されている電話機の受話器を取った場合は、リモート受信をします。詳しくは、⇒38 ページ「リモート受信の操作のしかた」を参照してください。
- 親切受信を「オフ」に設定している場合

本製品の受話器、または本製品に接続されている電話機の受話器を取って、「ポーポー」という音が聞こえたら相手がファクスですので、本製品の受話器を取った場合は、＜スタート＞を押します。このとき、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットしてあると送信されてしまうため、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていないことを確認してください。

本製品に接続されている電話機の受話器を取った場合は、リモート受信をします。詳しくは、⇒38 ページ「リモート受信の操作のしかた」を参照してください。
- 通話中の声や外部からの音をファクスの「ポーポー」という音と間違えて、突然ファクスに切り替わってしまうことがあるときは、親切受信の設定を「オフ」に設定してください。
- 親切受信機能は、本製品に接続されている電話機の受話器を取ってから40秒有効です。40秒経過してからファクス信号が送られてきても親切受信しません。

本製品に接続されている電話機からファクスを受信させる(リモート受信)

親切受信がうまくはたらかないとき、または親切受信の設定が「本体」または「オフ」になっている場合は、本製品に接続されている電話機を操作してファクスを受信させることができます。

注意

ダイヤル回線(20PPS、10PPS)に設定してある場合でリモート受信を行うときは、本製品に接続されている電話機のトーンボタンを押してトーン(PB)信号に切り替えてから、リモート起動番号を入力します。

リモート受信を設定する/リモート起動番号を変更する

リモート受信を使用するときは設定を「オン」にします。また、リモート起動番号を自分の好きな番号に変更することができます。お買い上げ時は「#51」に設定されています。

1 <メニュー>→<2>→<1>→<5>を押す

2 <▲>または<▼>で「オン」を選択して、<OK>を押す

リモート起動番号が表示されます。
リモート起動番号(3桁)を変更するときは、ダイヤルボタンで上書きします。

3 <OK>→<停止/終了>を押す

補足

リモート起動番号とは、本製品に接続されている電話機から、本製品にファクスをリモート受信させるときに使用するものです。

リモート受信の操作のしかた

1 本製品に接続されている電話機の受話器を持ったまま、ダイヤルボタンでリモート起動番号「#51」を入力する

受話器は約5秒後に戻します。
本製品がファクス受信を始めます。

補足

リモート起動番号は「#51」に設定されています。自分の好きな番号に変更することもできます。⇒38ページ「リモート受信を設定する/リモート起動番号を変更する」を参照してください。

本製品の操作で相手の原稿を受信する〔ポーリング受信〕

本製品からの操作で、相手側ファクシミリにセットされた原稿を受信します。これを「ポーリング受信」といいます。

補足

- 相手先のファクシミリがポーリング送信の準備ができていないと受信できません。また、機密ポーリングを行う場合は、相手先がブラザー製のファクシミリである必要があります。
- FAX情報サービスからデータの取り出しをする場合は、事前に情報提供先に操作方法などの確認をしてください。
- ポーリング受信の場合、通話料は受信者側の負担となります。

ポーリング受信の種類

選択項目	ポーリング受信の種類	内容
標準	標準ポーリング受信	本製品からの操作で、相手側ファクシミリにセットされた原稿を受信します
標準	順次ポーリング受信	1 回の操作で、複数の相手先からファクシミリにセットされた原稿を順次に受信します。これを「順次ポーリング受信」といいます
機密	機密ポーリング受信	受信側と送信側が同じ 4 桁のパスワードを使用してパスワードを知っている人だけが原稿を受け取ることができます。 機密ポーリング受信の設定をする前に、送信側と 4 桁のパスワードを決めておく必要があります。送信側とパスワードが一致したときだけ受信することができます。 また、順次ポーリング受信もすることができます。
タイマー	タイマーポーリング受信	ポーリング受信する時刻を設定して、相手側のファクシミリにセットされた原稿を自動的に受信することができます。 タイマーポーリング受信を解除したいときは⇒ 26 ページ「ファクス送信待ちを確認または解除する」を参照してください。

ポーリング受信する

1 <メニュー>→<2>→<1>→<8>
を押す

2 以下の手順でポーリング受信する

1 <▲>または<▼>（ポーリング受信の種類を選択）→<OK>

ポーリング受信の種類は⇒39ページ「ポーリング受信の種類」の表の「選択項目」を参照してください。

以下のポーリング受信は次の操作を行ってください。

- 機密ポーリング受信
ダイヤルボタンで4桁のパスワードを入力した後、<OK>を押します。
- タイマーポーリング受信
指定時刻を入力した後、<OK>を押します。
例：午後3時15分の場合は「1515」

2 相手先のファクス番号を入力する

短縮ダイヤルやワンタッチダイヤルなど、電話帳に登録されている番号を選択することもできます。

以下のポーリング受信は次の操作を行ってください。

- 順次ポーリング受信
<OK>を押した後、続けて同様の操作を繰り返し、すべての相手先のファクス番号を入力する

3 <スタート>を押す

受信時の設定

受信スタンプを設定する

ファクスを印刷するときに、受信した日時と本製品の発信元情報を印刷することができます。

1 <メニュー>→<2>→<1>→<9>
を押す

2 <▲>または<▼>で「オン」を選択して、<OK>を押す

3 <停止/終了>を押す

注意

あらかじめ本製品の日付と時刻を正しく設定し、発信元情報の登録をしておいてください。

自動的に縮小して印刷する

A4サイズの長さを超える原稿が送信されてきたときに、自動的に記録紙に収まるように縮小して印刷する機能です。

1 <メニュー>→<2>→<1>→<6>
を押す

2 <▲>または<▼>で「オン」を選択して、<OK>を押す

3 <停止/終了>を押す

補足

- 受信した原稿の長さに応じて自動的に縮小率を決め、約375mmまでの原稿をA4サイズに収まるように縮小して印刷します。約375mmを超えた原稿は縮小せずに2枚以上に分けて印刷します。
- 自動縮小を「オフ」に設定したときに、受信のたびに白紙がもう1枚排出されることがあります。そのときは、自動縮小を「オン」に設定してください。
- 原稿の長さは目安です。回線の状況によって変わります。
- 送信側の原稿サイズがA3やB4などの場合は、送信側で縮小しますので、この機能を「オフ」にしても縮小して受信されます。

印刷の濃さを設定する

受信するファクスの印刷の濃さを調節できます。印刷濃度は5段階で設定できます。

1 <メニュー>→<2>→<1>→<7>
を押す

2 <◀>または<▶>で印刷濃度を設定して、<OK>を押す
<◀>を押すと薄くなり、<▶>を押すと濃くなります。

3 <停止/終了>を押す

ファクス転送機能

ファクスがメモリに蓄積されると、外出先のファクシミリへ転送（ファクス転送）することができます。

補足

ファクス転送と、メモリ受信、電話呼び出し機能は同時に使用することはできません。

他の場所のファクシミリに転送する

ファクスを受信すると転送先のファクシミリへ自動的に転送する機能です。
転送したファクスの印刷設定は以下の中から選択できます。

- 「する」：
受信したファクスを転送すると同時に、本製品で印刷します。
- 「しない」：
受信したファクスを転送するだけで、本製品で印刷しません。

1 <メニュー>→<2>→<5>→<1>
を押す

2 以下の手順でファクス転送を設定する

- 1 <▲>または<▼>（「ファクス転送」を選択）→<OK>
- 2 転送先の番号を指定→<OK>
- 3 <▲>または<▼>（印刷の設定を選択）→<OK>

3 <停止/終了>を押す

補足

- ファクス転送番号は外出先から変更することができます。⇒45ページ「外出先からファクス転送番号（転送先の電話番号）を変更する」を参照してください。
- 転送先番号は最大 20 桁まで入力できます。カッコ「()」、ハイフン「-」は入力できません。
- ファクスが転送されると、メモリに蓄積されたファクスは自動的に消去されます。
- ファクス転送を設定する前に受信したファクスは転送されません。
- ファクス転送前に停電が発生したり、転送先のファクシミリに問題が発生した場合、ファクスデータがメモリに保存され、電源スイッチを OFF にしても消去されません。

外出先から本製品を操作する:リモコン機能

リモコンアクセスを利用する場合は、暗証番号の設定が必要です。

暗証番号を設定する

外出先から本製品を操作するための暗証番号（3桁の数字と*）を設定します。

注意

暗証番号には、第三者に推測されやすい番号（生年月日など）を使用しないでください。

- 1 <メニュー>→<2>→<5>→<2>を押す
- 2 ダイヤルボタンで暗証番号（3桁の数字）を入力した後、<OK>を押す
（暗証番号は最後に「*」を加えた4桁の番号になります。4桁目の「*」は変更できません。）
- 3 <停止/終了>を押す

外出先から本製品を操作する

外出先のプッシュ（PB）回線に接続されているファクシミリ、またはトーン（PB）信号が送出できるファクシミリを使い、外出先から本製品を操作して、ファクス転送などの操作を行うことができます。

- 1 外出先のファクシミリから本製品にダイヤルする
- 2 本製品が応答し、無音状態の間に暗証番号（3桁の数字+**(*)**）を入力する
「ポー」という応答音が聞こえたら、本製品がメッセージを受信し、メモリに蓄積していることを示しています。
ファクスがメモリに蓄積されていない場合は、音がしません。
- 3 短い「ピピッ」という応答音が続けて聞こえている間に、リモコンコードを入力する

補足

リモコンコードは、外出先から本製品に対する設定を変更するための番号です。⇒44ページ「リモコンコードで設定できる機能〔コード一覧〕」を参照してください。

- 4 リモコンアクセスを終了するときは、**(9)****(0)**を入力する

補足

- トーン信号を送出できない電話機からのリモコンアクセスはできません。
- リモコンアクセスする電話機がダイヤル回線の場合は、ダイヤル後、電話機のトーンボタンを押してから暗証番号を入力します。

● 暗証番号を入力するタイミングを以下に示します。

・ ファクス専用モードのとき

メモリ受信の場合、本製品が応答すると、約4秒間無音になりますので、この間に入力してください。また、メモリ受信が設定されていないときは、ファクス信号（ピーヒョロヒョロ音）の間の無音状態の間に入力してください。

・ 自動切換えモードのとき

本製品が応答すると約4秒間無音状態になりますので、この間に入力してください。

・ 外付け留守電モードのとき

本製品に接続されている留守番電話が応答した後、応答メッセージが聞こえてくる前の無音状態のときに入力してください（本製品に接続されている留守番電話に応答メッセージを録音する際はあらかじめ4～5秒くらい無音状態を入れておいてください）。

・ 電話モードのとき

呼び出しベルが約35回鳴るまで待った後、約30秒無音状態になりますので、この間に入力してください。

● 「ピピッ」という応答音が聞こえてこないときは、繰り返し暗証番号を入力してください。回線状態などにより、暗証番号を受けられないことがあります。

● 1つのリモコンコードの入力が終了したら、短い「ピピッ」という応答音が続けて聞こえる間に、次のリモコンコードを入力することができます。

● 間違った操作を行ったときや正しい設定・変更ができなかったときには、短い「ピピピッ」という応答音が聞こえます。正しく設定できたときは少し長い「ピー」という応答音が1回聞こえます。

● 「ピピッ」という音が続けて聞こえているときに、何もコードを入力せずに30秒以上経過すると、リモコンアクセスが終了します。

● メモリ受信されたファクスメッセージをリモコンアクセスで取り出したいときは、設定をファクス転送にしないでください。

リモコンコードで設定できる機能〔コード一覧〕

リモコンコードを入力することにより、本製品を下記のように操作することができます。

機能	コード
メモリ受信を解除します。（電話呼び出し、ファクス転送の設定も解除されます）	951
ファクス転送に設定します。（番号未登録時は設定できません）	952
電話呼び出しに設定します。（番号未登録時は設定できません）	953
ファクス転送番号の登録や変更をします。転送番号を登録した後、 (#) を2回入力します。転送番号を登録すると、自動的にファクス転送の設定が「オン」になります。	954
メモリ受信を設定します。	956
メモリに蓄積したファクスメッセージを取り出します。	962
メモリに蓄積したファクスメッセージを消去します。	963
ファクスメッセージを蓄積しているかを確認します。蓄積しているときは「ピー」という音が、蓄積していないときは「ピピピッ」という音が聞こえます。	971
受信モードを「外付け留守電」モードに変更します。	981
受信モードを「自動切換え」モードに変更します。	982
受信モードを「ファクス専用」モードに変更します。	983
リモコンアクセスを終了します。	90

上記の機能のうち、「外出先からファクスを取り出す方法（962）」と「外出先からファクス転送番号を変更する方法（954）」について手順を示します。

外出先からファクスを取り出す

- 1 外出先のファクシミリから本製品にダイヤルする
- 2 本製品が応答し、無音状態の間に暗証番号(3桁の数字+ $\textcircled{*}$)を入力する
「ポー」という応答音が聞こえたら、本製品がファクスを受信し、メモリに蓄積していることを示しています。
ファクスがメモリに蓄積されていない場合は、音がしません。
- 3 「ピピッ」という音が聞こえたら、 $\textcircled{9} \textcircled{6} \textcircled{2}$ を押す
- 4 外出先の今使用しているファクシミリのファクス番号を入力して最後に $\textcircled{\#}$ を2回押す
ファクス番号は最大20桁まで入力できます。
- 5 受話器を戻す

外出先からファクス転送番号(転送先の電話番号)を変更する

- 1 外出先のファクシミリから本製品にダイヤルする
- 2 本製品が応答し、無音状態の間に暗証番号(3桁の数字+ $\textcircled{*}$)を入力する
- 3 「ピピッ」という音が聞こえたら、 $\textcircled{9} \textcircled{5} \textcircled{4}$ を押す
- 4 新しい転送番号をダイヤルボタンで入力して最後に $\textcircled{\#}$ を2回押す
転送番号は最大20桁まで入力できます。
- 5 「ピー」の後に「ピピッ」という応答音が聞こえたら、 $\textcircled{9} \textcircled{0}$ を押して受話器を戻す
正しく設定できなかったときは、「ピピピッ」という音が聞こえます。もう一度、操作をやり直してください。

補足

- 外出先からは「*」や「#」を転送番号として登録することはできません。転送番号の間にポーズを入りたいときには、 $\textcircled{\#}$ を1回押します。
 $\textcircled{\#}$ を2回押すと転送番号の入力終了を表します。
- 受話器を持ったままにしても、操作しているファクシミリによって回線が切れることがありますので、その場合はもう一度かけ直した後、手順2以降の操作を行ってください。

レポート・リストの種類

本製品では、管理情報や設定内容に関するレポートおよびリストを印刷することができます。印刷できるレポートおよびリストは、以下のとおりです。

レポート・リスト	内容	操作
送信結果レポート	最新の送信・受信履歴200件の中から、送信履歴のみを表示します。または最後に送ったファクスの送信結果を印刷します。	表示：＜メニュー＞→＜4＞→＜1＞→＜1＞ 印刷：＜メニュー＞→＜4＞→＜1＞→＜2＞
電話帳リスト	ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤル、グループダイヤルに登録されている内容を「メモリ番号順」または「名前順」で印刷します。「メモリ番号順」を選択した場合は、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルの、それぞれに登録されている番号順に印刷されます。	＜メニュー＞→＜4＞→＜2＞
通信管理レポート	送信・受信した最新の最大200件分の結果を印刷します。	＜メニュー＞→＜4＞→＜3＞
設定内容リスト	各種機能に登録・設定されている内容を印刷します。	＜メニュー＞→＜4＞→＜4＞
着信履歴リスト	着信した履歴を印刷します。	＜メニュー＞→＜4＞→＜5＞

以下のレポートについては、自動的に印刷されるため、設定は不要です。

- ・タイマー送信レポート
タイマー送信が終了すると印刷されます。
- ・ポーリング送信レポート
ポーリング送信が終了すると印刷されます。
- ・同報送信レポート
同報送信が終了すると印刷されます。

送信結果レポートを表示する

送信結果レポートを表示します。表示内容は、送信した最新の最大200件分の結果と詳細についてです。

- 1 <メニュー>→<4>→<1>→<1>を押す
- 2 <▲>または<▼>で送信結果を選択して、<OK>を押す
- 3 <停止/終了>を押す

レポート・リストを印刷する

- 1 <メニュー>を押した後、ダイヤルボタンで印刷する内容に該当する操作を行う

入力する番号は⇒46 ページ「レポート・リストの種類」の表の「操作」を参照してください。以下のレポート・リストは次の操作を行ってください。

- 電話帳リスト
<▲>または<▼>で印刷方法を選択して<OK>を押します。

- 2 「スタートボタンを押してください」と表示されたら、<スタート>を押す

- 3 <停止/終了>を押す

注意

記録紙サイズの設定が A4 以外の場合は、レポート・リストを印刷できません。

レポートの出力を設定する

送信結果レポートと通信管理レポートの出力に関することを設定します。

送信結果レポートの出力を設定する

ファクス送信後に送信結果を印刷するための設定をします。

送信結果レポートの出力設定は以下の中から選択できます。

- ・「オン」：送信後に毎回自動的に印刷します。
- ・「オン+イメージ」：「オン」の動作に加えて、ファクスの1ページ目の画像も印刷されます。
- ・「オフ」：通信エラーが発生したときやうまく送信できなかったときに、自動的に印刷します。
- ・「オフ+イメージ」：「オフ」の動作に加えて、ファクスの1ページ目の画像も印刷されます。

補足

リアルタイム送信時には画像は印刷されません。

1 <メニュー>→<2>→<4>→<1>
を押す

2 <▲>または<▼>で印刷する送信結果レポートの出力設定を選択して、<OK>を押す

3 <停止/終了>を押す

通信管理レポートの出力間隔を設定する

通信管理レポートの出力間隔を設定します。

1 <メニュー>→<2>→<4>→<2>
を押す

2 以下の手順で間隔を設定する

1 <▲>または<▼>（出力間隔を選択）→<OK>

「7日ごと」を設定したときは、曜日を<▲>または<▼>で選択して<OK>を押してください。

2 開始時間を入力→<OK>

開始時間は、「50件ごと」、「レポート出力しない」以外を選択した場合のみです。

補足

通信管理レポートの出力開始時間になる前に200件になったときは、通信管理レポートが自動で印刷されメモリから消去されます。

3 <停止/終了>を押す

文字を入力する

発信元登録、電話帳の登録では、操作パネル上のダイヤルボタン/ナビゲーションキーを使って文字を入力します。コンピューターからリモートセットアップ機能を使用して登録することもできます。詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「リモートセットアップ」参照してください。

入力できる文字

ボタンを押す回数に応じて入力できる文字が変わります。入力できる文字の種類は設定項目によって異なります。

ボタン	入力できる文字
	アイウエオアイウエオ 1
	カキクケコ ABC 2
	サシスセソ DEF 3
	タチツテトツ GHI 4
	ナニヌネノ JKL 5
	ハヒフヘホ MNO 6
	マミムメモ PQRST 7
	ヤユヨ ャ ュ ョ TUV 8
	ラリルレロ WXYZ 9
	ワヲンー (音引き) 0
	＊ °
	. @ - _ ' (スペース) ; : < = > ? [] ^ ! " # \$ % & () * + , / €

文字の入力方法（変更方法）

電話番号や文字は以下の操作で入力します。

したいこと	操作のしかた
文字を入れる	~ 、、 を押す
電話番号に「ポーズ」を入れる ※ ポーズ（約3.5秒の待ち時間）	再ダイヤル/ポーズ を押す ※ 入力したポーズは電話帳やダイヤル入力時は「p」で表示されます。 発信元登録（ DEF）では入力できません。
文字を削除する	クリア を押す - カーソルが文字列の最後の後方にあるときは、カーソルの左の1文字を削除する - カーソルが文字列上にあるときは、カーソル位置の1文字を削除する
文字を変更する	を押して変更したい文字にカーソルを移動させ、を押した後に文字を入力する
スペース（空白）を入れる	を押してカーソルを右に移動させる (文字のときは (2回押) でスペースを入れることができます)
記号を入力する	記号ボタン（）を押して、入力したい記号を選ぶ
同じボタンで続けて文字を入力する	を押してカーソルを1文字分移動させて入力する
入力した内容を確定させる	OK を押す

入力例

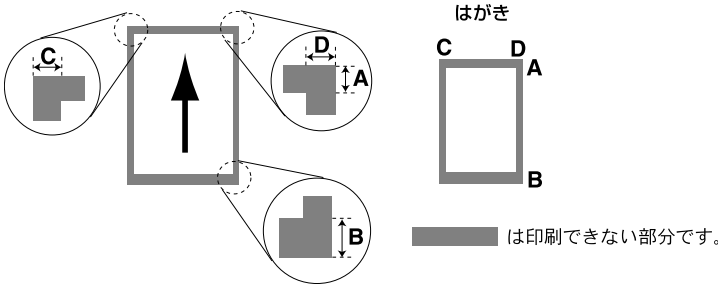
発信元登録や電話帳登録で「スズキ ケイコ」と入力するときは下記のように操作し、入力が終了したら<OK>を押してください。

操作のしかた	液晶ディスプレイ表示
 を3回押す	ス
 を1回押す	ス■
 を3回押す	スス
 を1回押し、「〃」を選択して  を押す	スス〃
 を2回押す	スス〃キ
 を2回押す	スス〃キ■
 を4回押す	スス〃キケ
 を2回押す	スス〃キケイ
 を5回押す	スス〃キケイコ

記録紙のこと

記録紙の印刷可能範囲

記録紙には印刷できない部分があります。
以下の図と表に、印刷できない部分を示します。なお、図と表のA、B、C、Dはそれぞれ対応しています。



(単位：mm)

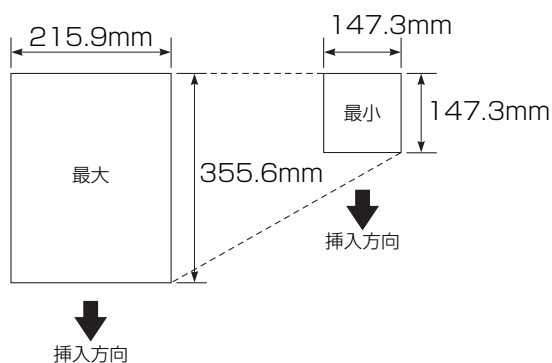
サイズ	モード	A	B	C	D
A4	ファクス	3.0	12.0 (自動縮小 ON 時) 3.0 (自動縮小 OFF 時)	1.0	1.0
	コピー	3.0	3.0	2.0	2.0
	プリンター	4.2	4.2	4.2	4.2
はがき (100mm×148mm)	コピー	3.0	3.0	1.9	1.9
	プリンター	4.2	4.2	4.2	4.2

補足
印刷できない部分の数値（表中のA、B、C、D）は、目安として参考にしてください。また、お使いの記録紙やプリンタードライバーによっても値が変わってきます。

原稿のこと

原稿サイズ

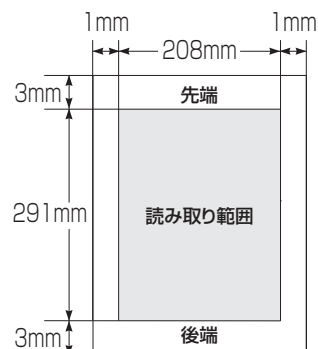
ADF（自動原稿送り装置）にセットできる原稿サイズは次のとおりです。



坪量 : 64g/m² ~ 90g/m²

原稿の読み取り範囲

A4サイズの前稿をセッとした場合の最大読み取り範囲は次のとおりです。



補足

- 原稿の読み取り範囲は、目安として参考にしてください。
- 原稿を読み取る範囲と記録紙に印刷できる範囲が異なります。⇒51ページ「記録紙の印刷可能範囲」を参照してください。

製品情報

製品情報の確認/印刷

	機能	内容	操作
確認	シリアル番号	シリアル番号を表示します。	<メニュー>→<5>→<1>→ <停止/終了>
	印刷枚数	以下の項目について印刷した枚数を表示します。 ・ 合計 ・ ファクス / リスト ・ コピー ・ プリンター	<メニュー>→<5>→<2>→ <▲>または<▼> (表示する項目を選択) →<停止/終了>
	ドラムユニット	ドラムユニットの寿命を表示します。	<メニュー>→<5>→<3>→ <停止/終了>

補足

- 表示される寿命はあくまで目安です。
- ドラムユニットの概算寿命は12,000枚、その他の定期交換部品の概算寿命は50,000枚です。

最新のドライバーや、ファームウェア（本体ソフトウェア）を入手するには

弊社ではソフトウェアの改善を継続的に行っております。

最新のドライバーやファームウェアをサポートサイト（ブラザーソリューションセンター）よりダウンロードすることでお手元の製品の関連ソフトウェアを新しくしていただくことができます。

ドライバーを新しくすることで、新しいOSに対応したり、印刷の際のトラブルを解決できることがあります。また、本体のトラブルのあるときは、ファームウェア（本体ソフトウェア）を新しくすることで解決できることがあります。

ダウンロード・操作手順について詳しくは、<http://solutions.brother.co.jp/> へ

設定機能の初期化

初期化とは

各種機能の設定内容をお買い上げ時の状態に戻したり、電話帳に登録した情報をすべて消去したりすることができます。

初期化できる設定は以下のとおりです。

注意

- 初期状態に戻すと、設定・電話帳などの内容は元に戻せません。初期状態に戻す前に、電話帳に登録されている電話番号は印刷して保存しておいてください。⇒46ページ「レポート・リストの種類」を参照してください。
- セキュリティ設定ロックがオンになっていると、初期状態に戻す機能は使用できません。⇒17 ページ「パスワードを登録する」で設定したセキュリティ設定ロックのパスワードを入力してください。

機能の種類	内容	操作
機能設定	コピー、ファクスなど各種機能でご使用にあわせて設定した内容をお買い上げ時の状態に戻します。	<メニュー>→<0> →<8>→<1>
電話帳・ファクスの登録情報	以下の項目の設定をお買い上げ時の状態に戻します。メモリに受信したファクスデータも消去されます。未読のファクスがないかをあらかじめご確認ください。 • お客様の名前・電話番号 • セキュリティ設定ロックで設定したパスワードと設定内容 • 発信履歴（再ダイヤル機能） • 送付書のコメント • 同報送信する相手先 • タイマー送信する相手先 • リモート起動番号 • 電話帳の内容 • グループダイヤルの内容 • 着信履歴の内容 • ファクス転送先の内容と転送設定 • メモリの内容（受信データ） • リモコン暗証番号 • 通信管理レポート • 送信結果レポート	<メニュー>→<0> →<8>→<2>
全設定	上記すべてに関して設定した内容をお買い上げ時の状態に戻します。	<メニュー>→<0> →<8>→<3>

初期化のしかた

- 1 **<メニュー>を押した後、ダイヤルボタンで初期化する内容に該当する操作を行う**
 - 入力する番号は⇒54 ページ「初期化とは」の表の「操作」を参照してください。
 - 液晶ディスプレイにパスワードの入力が表示された場合は、セキュリティ設定ロックが「オン」になっています。セキュリティ設定ロックを「オフ」にしてください。⇒17 ページ「セキュリティ設定ロックをオフにする」を参照してください。
- 2 **<1>を押す**

<2>を押すと、設定メニューに戻ります。
- 3 **<1>を押す**

<2>を押すと、設定メニューに戻ります。
<1>を押した場合は、本製品が再起動し、初期化が完了します。再起動をしないと設定の初期化はされません。

あ

- **アイコン**
画面上で、ファイル、フォルダー、またはプログラムなどを示す絵文字です。
- **アプリケーションソフトウェア**
ワープロや表計算など、ユーザーが直接触って操作するソフトウェアです。
- **インターフェイス**
コンピューターと周辺装置のように、機能や条件の違うものの間で、データをやり取りするためのハードウェアまたはソフトウェアです。
- **ウィザード**
Windows® XP、Windows Vista®などで、インストール作業を半自動化してくれる機能です。
- **液晶ディスプレイ**
本製品の液晶表示パネルです。
- **オプション機能**
標準仕様に対し、お客様の希望に応じて変更できる機能です。

か

- **海外送信**
海外通信モードを設定すると、ゆっくりとしたスピードで通信します。国内でも通信状態の悪いところへ通信するときは、海外通信モードに設定しておく、確実に通信できます。
- **回線種別**
電話に使われているダイヤリングの方法です。発生したパルス数を数えて検出するダイヤル式と、周波数を検出して判別するプッシュ式があります。
- **解像度**
画像を読み取る細かさ、あるいは印刷する際の画像のきめ細かさ（滑らかさ）を表す単位です。スキャナーの場合は、1インチ（2.54cm）の寸法原稿を何画素で読み取れるかを表し、プリンターの場合は、印刷原稿1インチの寸法に何ドットで印字ができるかを表します。解像度が高くなるということは、画像を細かく読み取れたり、きめ細かく印刷できたりするということです。
- **機密ポーリング**
受信側のファクス操作で暗証番号を入れることによって、送信側のファクスにセットしてある原稿を暗証番号が合っているときにだけ自動的に送信させる機能です。
- **公衆回線**
一般のアナログ電話回線です。

さ

- **親切受信**
ファクスを着信したときに間違えて本製品の受話器、または本製品に接続されている電話機の受話器を取ってしまったときでも自動的に本製品がファクス受信を行う機能です。
- **スタックコピー**
複数枚の原稿を複数部コピーする場合に、1枚目を希望枚数分、2枚目を希望枚数分のようにコピーしていくことです。
- **スプリッタ**
ADSL という通信サービスを利用するときに必要な機器の1つです。音声信号とデータ信号を分けたり重ねたりする機能を備えています。
- **セキュリティ設定**
パスワードを登録して、設定の変更を制限したり、印刷/ファクス送信/コピー操作の利用を制限できる機能です。
- **ソートコピー**
複数枚の原稿を複数部コピーする場合に、原稿1部すべてコピーした後、再度1ページ目からコピーし、希望部数分コピーしていくことです。

た

- **タイマー送信**
指定した時刻にファクス送信する機能のことです。深夜や早朝など、電話料金が割引される時間帯を利用して通信すると経済的です。
- **ダイヤル制限**
ファクス送信を禁止したり、誤って間違った相手にファクスを送信しないように制限する機能です。ファクスを送信する前に番号を確認してから送ることができます。
- **タスクバー**
画面の上にあるプログラムの起動やフォルダーの表示のためのボタンを配置してある場所のことです。
- **定着ユニット**
紙に転写されたトナーを熱で定着するところです。本製品の液晶ディスプレイでは「ヒーター」と表示されます。
- **手差しスロット**
本製品で記録紙トレイにセットできない種類やサイズの記録紙をセットできるスロットです。セットできる記録紙については⇒51 ページ「記録紙のこと」を参照してください。
- **デバイス**
ハードディスクやプリンターのような、コンピューターで使われるハードウェアのことです。

●デュアルアクセス

1つの機能の動作中に別の機能を並行して処理できることです。

●電話呼び出し機能

ファクスメッセージがメモリに蓄えられると、外出先の電話に知らせる機能です。

●同報送信

ひとつの原稿のファクスの送信時に、複数の送信先を設定して一度に送信させる機能です。

●トナー

炭素を主成分とした粉末。画像の部分にトナーを付着させ、紙に転写し定着させることでコピーおよび印刷が行われます。

●トナーセーブ（トナー節約モード）

使用するトナーを節約して印刷する機能です。

●ドライバー

本製品に付属されているソフトウェア。コンピュータと周辺機器の橋渡しを行います。プリンタードライバーやスキャナー機能などを持っています。

●とりまとめ送信

メモリに蓄えられているタイマー送信用のデータを、同一の相手ごとにまとめてタイマーで指定された時間に送信する機能です。

な

●ナンバー・ディスプレイサービス

「ナンバー・ディスプレイサービス」はかけてきた相手の電話番号が受話器を取る前に、電話機などのディスプレイに表示されるサービスです。ご利用になるには別途電話会社へのお申し込みが必要です。

は

●ファクス転送

ファクスメッセージがメモリに蓄えられると、外出先のファクスに転送させる機能です。

●プリンタードライバー

アプリケーションソフトウェアのコマンドをプリンターで使用されるコマンドに変換するソフトウェアです。

●ポーリング通信

受信側のファクス操作で送信側のファクスにセットしてある原稿またはメモリに蓄積されている原稿を自動的に送信させる機能です。

ま

●メモリ送信

ファクス原稿を初めに読み取り、それをメモリに蓄えてから送信する機能です。

●メモリ代行受信

記録紙がセットされていないときなど、着信したデータをいったんメモリに蓄えておく機能です。

ら

●リアルタイム送信

データをメモリに蓄えず、原稿を読み取りながら送信する機能です。原稿の枚数が多い場合でもメモリオーバーすることなく送信できます。

●リダイヤル

相手先が話中のときなど、再びダイヤルをすることです。

●リモート受信

本製品に接続された電話機から本製品を操作する機能です。

●リモートセットアップ

本製品に対する機能設定をコンピュータ上で簡単に行うことができる機能です。

●リモコンアクセス

外出先から本製品をリモートコントロールして操作を行う機能です。外出先の電話からリモート起動番号を入力することで、さまざまな設定を行います。

●ログオン（ログイン）

コンピュータやシステムでアクセスするときに行う操作です。

数字

●2 in 1

2枚の原稿を縮小し、1枚の記録紙にコピーする機能です。

●4 in 1

4枚の原稿を縮小し、1枚の記録紙にコピーする機能です。

A to Z

- **ADF**
自動原稿送り装置。コピー、ファクス、スキャンするときに、まとめてセットしておけば自動的に原稿を1枚ずつ送り、読み取ります。
- **ADSL**
通常の電話回線（アナログ回線）で従来使っていたなかった帯域を利用してデータを高速に伝送する通信サービスです。
- **CSV形式**
Comma Separated Valueの略。レコード中の各フィールドを、コンマ（,）を区切りとして列挙したデータ形式です。Microsoft Excelなどの表計算ソフトウェアでは、CSV形式でのデータ出力、データ入力機能が用意されています。
- **DPI**
Dot Per Inchの略で、1インチ(2.54cm)幅に印字できるドット数を表す単位で、解像度を示します。
- **ECM通信**
Error Correction Modeの略。通信中雑音などにより送信データが影響を受けても、自動的に影響を受けた部分だけ送り直し、画像の乱れのない通信を行います。送信側・受信側ともにECM機能を持っていないとECM通信は行われません。
- **JPEG**
画像データを保存するファイル形式の1つで Joint Photographic Experts Groupの略。写真などの圧縮に効果的な圧縮方式です。
- **IPフォン**
インターネットを利用した通信方法で、多くのプロバイダーで行っている格安な電話サービスの総称です。一般電話回線と違い、インターネットの混み具合によって雑音が入ったり、通話が途切れるなどの問題が発生する場合があります。このような場合、ファクスでは通信エラーが発生しますので、送受信できません。
- **ISDN**
NTTが行っている総合デジタル通信網サービスです。「INSネット64」では、デジタル回線で電話とファクスを同時に使用することができますので、アナログ回線2本と同様な使いかたができます。
- **OS**
Operating System(オペレーティングシステム)の略で、コンピューターの基本ソフトウェア群です。Windows[®]、MacもOSの1つです。

- **PC/AT互換機**
IBM社が開発したパーソナルコンピュータ（IBM.PC/AT）の互換コンピュータに付いた名称です。日本ではDOS/Vコンピュータともいわれます。
- **PDF**
電子形式書類の1つで、Portable Document Formatの略。PostScriptをベースとしたフォーマットで、Adobe Readerというソフトウェアを使用して閲覧できます。
- **TIFF**
画像データを保存する形式の1つで Tagged Image File Formatの略。データの型を表すタグによって、1つの画像データの中にさまざまな種類の画像形式の情報を保存できます。
- **USBケーブル**
USBは、Universal Serial Bus（ユニバーサルシリアルバス）の略。ハブを介して最大127台までの機器をツリー状に接続できるケーブルです。機器の接続を自動的に認識する機能や、コンピューターの電源スイッチをONにしたままコネクタの接続ができるホットプラグ機能を持っています。
- **Vcards (vcf形式)**
電子メールで個人情報をやり取りするための規格。電子メールの添付ファイルの機能を拡張して、氏名、電話番号、住所、会社名などをやり取りできます。この規格に対応するアプリケーション間では、受信時に情報が自動的に更新されます。
- **Windows[®] XP/**
XP Professional x64 Edition、
Windows Vista[®]、Windows[®] 7
Microsoft社が開発したOSで、それぞれXPは2001年、XP Professional x64 Editionは2005年、Vistaは2007年、Windows[®] 7は2009年に発売されました。

索引

A

ADF（自動原稿送り装置）	52
ADSL	58

C

CSV 形式	58
--------	----

D

DPI	58
-----	----

E

ECM 通信	58
--------	----

I

IP フォン	6, 32, 58
ISDN	58
ISDN 回線	6, 18

J

JPEG	58
------	----

O

OS	58
----	----

P

PC/AT 互換機	58
PDF	58

T

TIFF	58
------	----

U

USB ケーブル	58
----------	----

V

Vcards（vcf 形式）	58
----------------	----

あ

アイコン	56
アプリケーションソフトウェア	56
暗証番号	43
安心通信モード	32

い

印刷可能範囲	51
印刷の濃さ	41
印刷枚数	53
インターフェイス	56

う

ウィザード	56
-------	----

え

液晶ディスプレイ	10, 56
----------	--------

お

オプション機能	56
オリジナルコメント	26

か

海外送信	56
海外送信モード	23
外出先から本製品を操作	43
回線種別	6, 56
解像度	56
画質	26

き

機密ポーリング	56
機密ポーリング受信	39
機密ポーリング送信	21
記録紙	51

け

原稿	52
原稿サイズ	52
原稿濃度	27
原稿の読み取り範囲	52
検索	29

こ

コード一覧	44
公衆回線	56
コントラスト	10

さ

再ダイヤル	28, 29
-------	--------

し

自動受信	34
自動的に縮小	41
自動的に受信	34
写真モード	26
受信	34
受信スタンプ	41
手動で受信	34
受話音量	7
順次ポーリング受信	39
初期化	54
シリアル番号	53
親切受信	34, 37, 56

す

スーパーファインモード	26
スタックコピー	56
スピーカー音量	7
スプリッタ	56
スリープモード	8

せ

製品情報	53
セキュリティ設定	56
セキュリティ設定ロック	13, 16
セキュリティ操作ロック	12, 14
設定内容リスト	46

そ

ソートコピー	56
送信結果レポート	46, 47, 48
送付書	25

た

タイマー送信	23, 56
タイマー送信レポート	46
タイマーポーリング受信	39
ダイヤル回線	37
ダイヤル制限	31, 56
ダイヤルトーン検出	32
ダイヤルボタン	28
タスクバー	56
短縮ダイヤル	28

ち

チェーンダイヤル	28, 30
着信音量	7
着信履歴リスト	46

つ

通信管理レポート	46, 48
通話後受信	34

通話後にファクスを受信	37
通話後にファクスを送信	19

て

ディープスリープモード	8
定着ユニット	56
手差しスロット	56
デバイス	56
デュアルアクセス	19, 57
転送	42
電話回線	6
電話帳	29
電話帳から検索	28
電話帳リスト	46
電話呼び出し	34
電話呼び出し機能	36, 57

と

同報送信	19, 57
同報送信レポート	46
特別回線対応	32
時計セット	12
トナー	57
トナーセーブ（トナー節約モード）	57
トナー節約モード	8
トナー連続使用	9
ドライバー	53, 57
ドラムユニット	53
とりまとめ送信	23, 57

な

ナンバー・ディスプレイ	18, 57
ナンバープレフィックス	33

は

パスワード	15, 17
発信元登録	24, 25

ひ

日付・時刻	12
表記	5
表示言語	10
標準ポーリング受信	39
標準ポーリング送信	21
標準モード	26

ふ

ファームウェア（本体ソフトウェア）	53
ファインモード	26
ファクス誤送信防止機能	31
ファクス送信待ちの確認・解除	26
ファクス転送	42, 57

プリンタードライバー	57
------------------	----

ほ

ボーリング受信	34, 39
ボーリング送信	21
ボーリング送信レポート	46
ボーリング通信	57
ボタン確認音量&ブザー音量	7

め

メモリ受信	34, 35
メモリ送信	57
メモリ代行受信	34, 35, 57
メモリに受信したファクスを印刷	35

も

モードタイマー	11
文字入力	49

よ

用語集	56
呼び出し中受信	34
呼び出し中にファクスを受信	36

り

リアルタイム送信	20, 57
リスト	46, 47
リダイヤル	57
リモート起動番号	38
リモート受信	38, 57
リモート受信の操作	38
リモートセットアップ	57
リモコンアクセス	57
リモコン機能	43
リモコンコード	44

れ

レポート	46, 47
連続印刷設定	9

ろ

ログオン（ログイン）	57
------------------	----

わ

ワンタッチダイヤル	28
ワンタッチボタン	28